# **令和三年度使用中学校教科用図書選定会議**

# 専門調査研究部会 議 事 绿

令和2年6月29日(月) 教育センター 207室

13:40~ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認、各自資料とり等)

13:50~ 選定基準の読み合わせ、個別の調査・研究

14:10~ 各自の調査研究の読み上げ 協議(項目ごと):司会(教頭)

#### 【1 各教科共通の選定の観点 (1) 内容の範囲及び程度】

- ・ それでは、「1 各教科共通の選定の観点 (1) 内容の範囲及び程度」について、協議します。まず、東京書籍からです。ご発言をお願いします。
- ・ 内容や長さの点から、発達段階に対して難易度が高いと思われる教材があります。 2年「辞書に描かれたもの」、3年「百科事典少女」です。
- 1年の「さんちき」も、小説としての難易度が急に上がっている印象を受けます。

#### 一同 合意

- ・ 次に、三省堂です。ご発言をお願いします。
- ・ 学習指導要領に示された内容がもれなく指導でき、教科の目標の達成に結びつく内容だと思います。

# 一同 合意

- ・ 2年の「壁に残された伝言」は、やや難易度が高い教材だと感じました。
- ・ 続いて、教育出版について、お願いします。
- ・ 学習内容が、学年の発達段階に即していない、難易度の高いものがありました。2年の「孔子の言葉(論語)」は、置き字などを学習する必要があるので、難しいのではないでしょうか。
- ・ 1年の「ふしぎ」から「文学入門」、「桜蝶」に続く流れも、文字数の多さと内容の複雑さから、 難しいと感じました。
- ・ 小学校からの接続を考えても、1年生のスタートでこれらの学習から入ると、国語が苦手だという意識をもってしまう生徒も出るのではないかと思います。
- ・ 「総合」のSDGsに関連した教材や、「メディアと表現」で漫画や絵コンテのみが取り上げられた教材があります。これは、国語の学習内容として適切でしょうか。特に漫画や絵コンテのみを 国語科の教材として学習するのは、意図が分かりにくいと思います。
- ・ これらの教材だけでは、目標達成につながる授業づくりが難しいということですね。
- では、光村図書出版について、お願いします。
- ・ 教科の目標達成に結びつく内容であり、学習指導要領に示された内容を不足なく取り上げています。
- ・ どの学年も、それぞれの発達段階に応じた内容になっていますね。学習指導要領に示された言語 活動ももれなく扱えるようになっています。

#### 一同 合意

- 教材の質も高いと感じました。とりわけ、「読むこと」の教材には質の高いものが多いです。
- 例えばどのような教材ですか。

・ 2年の「クマゼミ増加の原因を探る」は、現代社会について考えるのにふさわしいテーマで、生 徒が自分の考えをもちやすいと思います。

# 【1 各教科共通の選定の観点 (2) 内容に関する配慮事項】

- ・ では、次に「(2) 内容に関する配慮事項」についてです。まず、東京書籍についてお願いします。
- ・ 「てびき」には「目標」から「振り返り」までが示されているので、見通しをもった学習ができ ると思います。

#### 一同 合意

- 「てびき」の「たすけ」には、個に応じた指導への配慮も感じられますね。
- ・ どの学年も6ページに前の学年で学んだことがまとめてあり、どのような力を付けてきたのかが 分かります。
- 各教材の題名の下にある「問いかけ」は、問題解決的なめあての設定に役立つと思います。
- 教材の前の「学びの扉」は、生徒の学習意欲の向上にもつながりそうです。
- ・ 次に、三省堂について、ご発言をお願いします。
- ・ 「学びの道しるべ」は、学習過程が丁寧に示されていて主体的な学びにつながります。
- 「学びの道しるべ」で、思考法を示しているのは、思考を深める手だてになると思います。
- ・ 「思考の方法」として、情報の整理の仕方を一覧にしているのも、授業で役立ちますね。ただ、 思考ツールとして「三角ロジック」を取り上げていますが、思考ツールは他にも様々なものがあ るので、他のツールもあった方がいいですね。
- ・ 単元名が3学年を通して同じというのは、学年を重ねていきながら学びが深まっていっていることを生徒が実感しにくいと思います。
- 続いて、教育出版についてです。
- ・ 「読むこと」の教材では、「学びナビ」と「目標」、「みちしるべ」がつながっていて、見通しをもって学ぶことができると思います。

# 一同 合意

- ・ 「SDGs」の視点を生かした学習を強く意識しているのは分かるのですが、一つ一つの教材が どのようにSDGsと関連するがか明確でないのが気になりました。
- では、光村図書出版に移ります。
- ・ 学年間を見通して、系統的・段階的に教材を位置付けていると感じました。単元名にもそれが表れています。
- ・ どの領域においても、学習の流れが明確に示されていると思いました。

#### 一同 合意

- SDGsの視点も踏まえて、どの領域でも教材や題材が工夫されているのに、それが分かるように示されていないですね。
- ・ 他教科との関連やSDGsの視点での教科横断的な学習にあたって、それぞれの教材との関連が 分かりにくいということですね。

#### 【1 各教科共通の選定の観点 (3) 分量】

- では、次に「(3) 分量」についてです。まず、東京書籍について、ご発言をお願いします。
- 「読むこと」の教材が多いと思います。
- ・ 古典の教材が多いです。他の教材などとの授業時数のバランスを考えると、この量では学習の定着を図るには、多いと感じます。
- どの学年が顕著ですか。
- ・ 1年生です。「浦島太郎の物語」「伊曽保物語」「竹取物語」「矛盾」があります。
- 古典に親しむには、どの教材もいいと思いますが、量が多いですね。
- ・ どの学年も分量が多いと思いますが、特に3年生は、授業時数が少ないのに、最もページ数が多くなっていて、学習内容の多さが気になります。
- ・ では、分量の観点で見ると、いずれの学年も多いということですね。

#### 一同 合意

- ・ 次に、三省堂について、お願いします。
- ・ 授業時数に対して適切な分量だと思います。

#### 一同 合意

- ・ 全体としては適切だと思いますが、教材のバランスで見ると、「読むこと」の教材で、文学的文章 に対して説明的文章の割合が多いです。
- ・ 続いて、教育出版にいきます。
- いずれの学年も、授業時数に対して教材数、ページ数ともに多いのではないでしょうか。

#### 一同 合意

- ただ、短い作品が多く、読むことに対する抵抗感は軽減できると感じました。
- 領域のバランスで見るとどうでしょうか。
- ・ 全体的に「読むこと」の教材が多いです。「情報の扱い方に関する事項」についてなどもバランス よく取り上げる必要があるように感じます。
- では、光村図書出版について、お願いします。
- ・ 全体的に授業時数に対して適切だと思います。
- 授業時数も踏まえ、各領域が偏りなく調和がとれています。

# 一同 合意

#### 【1 各教科共通の選定の観点 (4) 使用上の便宜】

- ・ では、次に「4) 使用上の便宜」についてです。まず、東京書籍について、お願いします。
- 発展的な学習内容が、「資料編」として区別されているので活用しやすいです。
- ・ 各単元に練習問題があるのは、学習の定着に有効だと思います。
- 行数の表示が見やすいですね。授業で指示するときに分かりやすいと思います。
- ・ キャラクターを使っているのは、生徒が親しみをもちやすくていいと思いますが、「学びの扉」の 「人物ちょこっとメモ」などは、情報量が多いと感じます。
- 枠外の記述ですね。生徒にとって、学習に効果的でしょうか。
- ・ 親しみがわくとは思いますが、支援を要する子どもにとっては、情報量が多いことで授業に集中しづらくなることが考えられます。

- ・ 「話すこと・聞くこと」のページでは、説明が多いので、生徒が話し合いの場面をイメージする ためには、もっとイラストや図を入れた方が分かりやすいと思います。
- ・ では次に三省堂について、お願いします。
- ・ 2年生の144ページから145ページのグラフ資料が充実しています。このようなグラフ資料 があると授業での活用に役立ちます。
- ・ 巻頭の「領域別教材一覧」は、教科書の構成や使い方の説明が書いてあって、つかいやすいですね。
- ・ 巻末の「資料編」は、今後の学習や他教科での活用にもつながる内容になっています。
- ・ 「話すこと・聞くこと」のページで、色分けの工夫がされています。ただ、ページをまたいで色 分けについての解説があるため、色分けがかえって分かりにくさにつながってしまうのではない かと思います。
- ・ 続いて、教育出版について、お願いします。
- 行数の示し方が分かりやすいです。
- 教材のはじめに書かれている目標と「みちしるべ」のところにある「振り返り」が一体的になっているので、どのような力を付けるのかがはっきりします。
- ・ 目次の単元名のところに、教材本文から引用した一節が書いてあるのですが、単元のテーマと直接つながっているわけではないので、関連性が分かりにくいと感じました。
- ・ 単元のまとまりで見てみると、単元の始まりのページが分かりにくいために、境目や区切りがは っきりしません。
- ・ 2年生と3年生の両方に穂村弘さんの書いた文章が載っているのが気になります。教材数は限られるので、同じ筆者ではなく、幅広い筆者の文章に触れさせたいです。
- それでは、光村図書出版です。お願いします。
- ・ 巻頭の「思考の地図」は、思考ツールがまとめられているので、使いやすいですね。また、同じく巻頭の「学習の見通しをもとう」は、1年間の学習について、内容や構成、使い方が説明されているので、これも使いやすいと思います。
- 書いてある内容は分かりやすいのですが、文字が詰まっていて見づらく感じます。
- ・ 巻末にある「学習の窓」一覧は、領域や文の種類ごとに分かりやすくまとまっているので、発展的な学習や、生徒の主体的な学習にも役立つと思います。
- ・ 3年の「話し合いの方法」は、本編での説明は丁寧なのに、巻末のページの説明はやや簡潔すぎるのではないかと思いました。例えば137ページのように、注意点などもあると使いやすいです。
- このページだけでも、学習ができるようになっているといいですね。
- ・ 「話すこと・聞くこと」と「書くこと」のページは、それぞれ見開きで学習の流れが示されているのが、分かりやすいです。

#### 【1 各教科共通の選定の観点 (5) 印刷・製本等】

- ・ それでは、次に「(5) 印刷・製本等」についてです。まず、東京書籍について、ご発言をお願いします。
- 文字が小さいと思います。
- ・ 学年ごとの配慮はしているのですが、全体として小さくて読みづらさを感じます。

- ・ 1年の「文の成分」のページの色合いが、淡い色使いになっていて、見にくい印象がありました。
- 次に、三省堂についてです。お願いします。
- ・ 文字の大きさについては、発達段階に応じた配慮がありますね。
- ・ ただ、字間が詰まっていて、1行の字数が多いので、読みにくさがあります。
- ・ 書体は独自のものを使っているのですが、丸みを帯びているために、読みづらさを感じます。
- ・ 表紙が見返し加工になっていないので、丈夫さに欠けるのではないかと思います。
- 続いて、教育出版です。
- ・ 印刷は鮮明で、製本もしっかりしていると思います。

#### 一同 合意

- 本編部分の紙質がざらついた手触りで、気になります。
- 「詩」の教材の文字が小さいです。あと、文字が細く、色も薄いです。
- 「目次」の配色が、地味なので明るさに欠けると思います。
- ・ では、光村図書出版に移ります。
- 文字の大きさ、字間は適切だと思います。活字も見やすいです。

#### 一同 合意

- ・ 表紙に自然な凹凸加工がしてあって、手になじみます。扱いやすいですね。
- 滑りにくいのがいいですね。
- ・ 写真の中に、鮮明さに欠けるものがあるのが気になります。

# 【2 選定の観点】

- ・ では、次に「2 選定の観点」についてです。東京書籍について、ご発言をお願いします。
- 「話すこと・聞くこと」は、対話例が豊富で、思考ツールの提示もあって、対話の基礎を身に付けるのに有効だと思います。
- 「情報の扱い方に関する事項」は、生徒にとって身近な例を題材にしていて、情報の整理の仕方 などを集中的に学べるように工夫されています。
- ・ 「読書」については、「テーマ読書」や著名人による「おすすめの本」など、生徒が興味をもてる 工夫があります。
- ・ 2年の漢詩については、本編の解説が少ないように思います。資料編の川合康三氏の解説がありますが、本編にもこのような解説があった方が理解しやすいのではないでしょうか。
- 次に、三省堂について、お願いします。
- ・ 「話すこと・聞くこと」で読書活動が配置されているので、目的意識をもった読書につながると 思います。
- ・ 読書に関して言うと、読書活動とは別に「読書の広場」が巻末に載っているために、年間を通し た読書活動という点では、読書意欲を高めづらいです。
- ・ 2年生の漢詩は、解説がありません。この脚注だけでは、鑑賞がしづらいと思います。
- 続いて、教育出版について、お願いします。
- 「読むこと」で同じテーマで書かれた二つの題材を読み比べるのは、論理的思考力を高めるのに 役立ちます。
- 「情報の活用」についてですが、情報をどう活用するかを生徒自身が考えられる場面が少ないで

す。

- ・ 新出漢字の取り扱いについてです。本文中の欄外には、読みがなや例語を示していないので、授業で使いづらいです。
- ・ 全学年に総合単元があって、SDGsと関連付けたものになっているのですが、生徒が学習の必然性を感じにくいのではないかと思います。
- ・ では、光村図書出版についてです。
- ・ 「書くこと」では、思考ツールや図表で情報を視覚化する方法が示されています。これは、情報 を整理したり、構成を考えたりするときに有効だと思います。
- ・ 「読むこと」では、教材の配置の工夫が感じられます。例えば、1・2年で図表を用いた教材が あって、2・3年で比較読みの教材を配置しています。
- ・ 読んで考えを形成したり、根拠を明確にして意見を述べたりする力の育成にもつながりますね。
- 「読むこと」の教材で気になることがあります。1年の「シンシュン」と「星の花が降るころに」は、どちらも友人関係をテーマにしたものになっています。
- ・ 生徒にとっては、友人関係は身近なテーマですが、教材数には限りがあるので、違うテーマのも のがいいですね。
- ・ それから、3年生にとっては、古典の単元の時期がやや遅いのが気になります。
- ・ 本日は、ここまでです。次回は、新学習指導要領のポイントでもある①生徒が見通しをもって主体的に学ぶことができるか、学びを調整し粘り強く取り組めるか、②教材・題材、言語活動は適切に設定されているか(難易度、過不足など)等の視点からも研究調査を行い、まとめていきます。その際、学校や市民の意見も参考にしながら、まとめていきます。

令和2年7月8日(水) 教育センター 207室

13:40~ 選定基準の読み合わせ、時程の確認、市民学校の意見の精査、個別の調査・研究

15:00~ 各自の調査研究の読み上げ 協議(発行者ごと):司会(教頭)

・ では、発行者ごとに、記載内容について、選定基準や選定の視点を踏まえ、学校や市民の方から のご意見も加えて、まとめていきたいと思います。

#### 【東京書籍】

- まず、東京書籍について、ご発言をお願いします。
- ・ ①見通しをもって主体的に学べるかという視点、②言語活動等の適切さ等については、記載のと おりでよいと思います。

#### 一同 合意

・ 学校からのご意見として、「内容の範囲及び程度」に関して、難易度の高さを指摘したものがあります。いずれの学年も難しいというご意見です。また、「内容に関する配慮事項」に関しては、「てびき」によって見通しをもった学習ができるというご意見がありました。それから、「使用上の便宜」に関しては、二段組みの教材が多いので、読みづらいというご意見がありました。

・ それぞれ、「内容の範囲及び程度」、「内容に関する配慮事項」、「使用上の便宜」に学校からのご意 見として入れます。

# 一同 合意

・ 二段組みについての具体的な教材の一例として、2年36ページからの「辞書に書かれたもの」 があります。

# 【三省堂】

- では、次に三省堂についてです。お願いします。
- ①見通しをもって主体的に学べるかという視点、②言語活動等の適切さ等については、記載のとおりでよいと考えます。

#### 一同 合意

- ・ 学校からは、「内容の範囲及び程度」で、教材の内容について、学校生活や身の回りの日常生活から社会生活へと広がるように配慮されているというご意見がありました。また、「使用上の便宜」に関して、巻頭の「領域別教材一覧」は、学習の見通しをもつのに有効であるというご意見がありました。あと、「印刷・製本等」で、折込資料が多くて使いづらいというご意見がありました。
- ・ それぞれのご意見を、「内容の範囲及び程度」、「使用上の便宜」、「印刷・製本等」に入れます。

#### 一同 合意

### 【教育出版】

- ・ それでは、教育出版について、お願いします。
- ・ ①見通しをもって主体的に学べるかという視点、②言語活動等の適切さ等については、記載のと おりでよいと思います。

#### 一同 合意

- ・ 学校からのご意見です。「内容の範囲及び程度」について、1年生の「文学入門」、「桜蝶」は難しいというご意見がありました。「内容に関する配慮事項」では、「読むこと」教材の「学びナビ」「目標」「みちしるべ」が見通しをもった学習につながるとのご意見がありました。「使用上の便宜」については、「学びナビ」で書き込む箇所がありますが、これは、学習が限定的になるというご意見がありました。
- ・ では、それらのご意見を、「内容の範囲及び程度」と「内容に関する配慮事項」、「使用上の「便宜」 に入れます。

#### 一同 合意

#### 【光村図書出版】

- ・ では、光村図書出版について、お願いします。
- ・ ①見通しをもって主体的に学べるかという視点、②言語活動等の適切さ等については、記載のと おりでよいと思います。

#### 一同 合意

・ 学校からのご意見は、「内容に関する配慮事項」について、教材の後の「学習」では、「見通しを もつ」「とらえる」「読み深める」「考えをもつ」「振り返る」の5つの段階が示されているので、 生徒が見通しをもって、主体的に学べるというご意見でした。また、「使用上の便宜」について、 QRコードのことがありました。自主的・自発的な学習を促すことにつながり、個に応じた指導にも有効だというご意見です。「選定の観点」に関してのご意見もあります。「読書」について、「読書活動」、「案内」、「コラム」など、本の紹介の仕方にも工夫がある。図書紹介も充実しており、読書意欲の向上につながるというご意見です。

- ・ 「読書」に関しては、市民の方からのご意見もありました。本を読みたくなる、本好きの子ども を育てるというご意見です。
- ・ 読書意欲の向上につながるという点で、学校と一致したご意見ですね。
- ・ では、それぞれのご意見を「内容に関する配慮事項」、「使用上の便宜」、「選定の観点」に入れます。

#### 一同 合意

・ 以上で4者全ての協議が終わりました。報告の整理に入ります。

16:00~ 画面に様式を移して観点ごとの内容を整理。

16:20~ 印刷・確認 → 修正

16:40~ 鑑文に押印・片付け

17:00 終了

令和2年6月24日(水) 教育センター 202室

13:40~ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認、各自資料とり等)

13:50~ 選定基準の読み合わせ、個別の調査・研究

14:10~ 各自の調査研究の読み上げ

協議:司会(主幹教諭)

#### 【東京書籍】

- ・ それでは、東京書籍について「選定の観点ごと」に発言をお願いする。
- 内容の範囲・程度はどうか。
- ・ 内容の範囲はどの出版者も妥当だと思う。
- 合意。
- 程度について考えるとよいのではないか。
- 合意。
- 2年生の行書と仮名の調和「豊かな自然」は難易度が高いと感じる。
- 他者はどのようになっているか。
- ・ 同内容の課題を他者と比べると、2者は4字、1者5字だが、平易な文字である。
- 合意。
- ・ 1年生の楷書から2年生の行書への移行がよい。
- ・ 行書の最初の課題「日光」の「光」は難易度が高いのではないか。
- 他者はどのようになっているか。
- ・ 2者が「大木」1者は「元気」。大木に比べると難しいと感じる。
- 合意。
- ・ 「書写で学ぶこと」が巻頭にあり、3年間の見通しがもてるようになっている。説明も詳しく記載 されているが、紙面が整理されていないため、分かりづらい。
- 合意。
- p10.11 の「基本の点画」に「右上払い」がない。そのため、楷書の毛筆教材「大志」となっており、 楷書の学習内容を十分に網羅しているとは言えない。
- 行書の5つの特徴をまとめたものがないため、行書の基礎的な書き方を理解することが難しい。
- ・ では、内容に関する配慮事項について
- 「書写活用ブック」に「人名漢字表」も掲載されており、生徒が自分の記名に対応しやすい。
- 合意。
- ・ 文字を正しく整えて速く書くための知識・技能が「書写のかぎ」として、各単元に一つ明示されて いるのでわかりやすい。
- ・ 「仮名の書き方と字形」の平仮名の一覧が50音図になっているが、古典学習との関連から考える といろは歌のほうがよい。
- ・ p72 手書き文字と活字の違いについては記述されているが、正誤についての記載がなく、生 徒の興味・関心に対して不十分である。

- ・ p8 小学校の学習を振り返る内容が充実しており、チェックしながら基本的な知識・技能の定着を確認できるようになっている。
- 合意。
- ・ 教材の硬筆文字から普段書いている字の課題を見つけ出し、解決について考えてたり、言葉に表したりする活動が設定されている。問題解決型の学習となっており、主体的な学びへとつながっている。
- 「書写テスト」があるが、記載されている場所がばらばらであり使いづらい。
- ・ 以上で配慮事項はよいか。次は分量について。
- ・ 3年間の授業時数で考えると内容が多すぎるのではないか。
- ・ 他者と比べてみると、断然多いというわけではない。
- ・ 配慮事項、注意事項が一面にありすぎるため、1時間の組み立てが焦点化しづらく、説明するため だけに時間がかかりすぎるのではないか。
- だから、多いと感じるのかもしれない。
- ・ 1年生の毛筆(楷書)は「大志」のみなので、もう1つ課題が欲しい。
- ・ 小学校で学んでいるので、力はついているから、課題は一つなのではないか。
- ・ そのため、小学校の内容を振り返るページが充実しているのではないか。
- ・ 使用上の便宜についてはどうか。
- 硬筆を書くコーナーが多いのはよいと思う。
- AB判なので、机上に置いて毛筆を書くときは、場所をとってしまうので使いづらい。
- 手本を拡大コピーすると半紙サイズになるので、毎回手本をコピーすればよいのではないか。
- ・ 教科書を机に置いて学ぶことを考えると、B5サイズのほうが使いやすい。
- P42 年賀状の例に本文がないのは、はがきの基本形式と異なり、指導上不都合である。
- ・ 左利き、右利きどちらの場合でも教材文字をしっかり見ながら書くことができるように配慮されている。
- 手で文字が隠れないので、お手本の文字が見える。画期的な考えだ。
- ・ 動画や資料があるもの、国語や他教科の学習に関連する内容のもの、関連する内容が示されたページなど、マークが付けられていて、分かりやすい。
- ・ デジタルコンテンツが利用でき、一つのQRコードにまとめているので、教師が示す場合は使い勝 手がよい。
- 印刷・製本等について。
- ・ 表紙のイラストがよい。温かみのある素材での貼り絵が印象的。カモメが手紙をくわえている絵は、 書写の手書き文字での手紙を連想させる。中学生らしき人物が生徒たちに重なり、親しみやすさを 感じる。
- ・ 毛筆教材は手本が半紙の比率に合わせてあり、半紙への配列の参考になる。
- では、選定の観点について。
- ・ 毛筆教材文字のページにあるインデックスには学習課題を書き込む欄があったり、既習事項を図示していたりして、生徒が確認しやすい。
- ・ これは使用上の便宜にした方がよいのではないか。
- 合意。
- ・ 各学年に「生活に広げよう」という学習が設定されており、国語や他教科や日常生活に生かすこと

のできる内容になっている。また、具体的な場面に沿って書写の学びをどのように生かすのかを考えさせることができるようになっている。

- ・ 「生活に広げよう 防災訓練に参加しよう(2年)」では、案内表示や看板などを書くときを想定して考える場面があるが、現実的ではないと思われる。
- ・ 単元は硬筆文字から課題を発見し、毛筆で大きく書いて確認し、硬筆で他の文字を書いて定着を図 る、というように、毛筆を使用する学習が硬筆で書く力の基礎となるように構成されている。
- ・ p14~17 毛筆のポイント解説も、毛筆を生かした硬筆も少ない。
- 一部のみなので、挙げなくてよいのではないか。
- 合意。

# 【三省堂】

- ・ 次に三省堂について。
- 内容の程度はどうか。
- ・ 「この教科書で学ぶ皆さんへ」で学習の見通しが分かるようにしているが、中学生活3年間の見通 しとしてはおおざっぱすぎるのではないか。
- ・ 他者には各学年の目標が書かれている。どのような力をつけるのかが分かる方がよい。
- 合意。
- ・ 1年生の行書は「実」「結」「元気」「探求」と難易度順に並んでいるので、しっかり時間をかけ、習得する内容になっている。
- 全体的に説明が少なく、生徒が何をどのように学ぶのかを理解しづらい内容になっている。
- ・ p76「名言集」はいいが、作成のポイント(評価の観点)についての説明がない。
- ページ数が少ないので、説明を最小限にしているのではないか。
- 内容に関する配慮事項はどうか。
- ・ 「書写の広場」の楷書・行書一覧は、常用漢字表のみで、生徒が自分の記名に対応しにくい。
- ・ 筆の運び方 (p. 10) の、穂先・軸の動き・腕の動きの説明が分かりにくい。
- 軸の傾きや腕の動きを示しているのは三省堂だけだが、イラストがその補足となっていないと思う。
- p.5「学習の流れ」が、ポイントをつかんで書くことが中心になっており、課題解決学習になっていない。
- 合意。
- ・ p48,66「やってみよう」では手順が具体的に示され、活動内容が分かりやすい。
- 先程も出たが、全体的に説明が少ない。理解して字を書いている生徒はよいが、そうではない生徒には、自ら進んで工夫することができないのではないか。
- ・ はがきを書くページ(1年)では、書き方が別ページにあり、お手本もない上に横書きで書いてある。メモや下書きを縦書きで書かなければならず、難しいと思われる。
- ・ 最初の毛筆教材であるにもかかわらず、1年「天地」ではポイントや注意点が示されていないので、 正しく整えて書くことが難しいと思われる。
- 分量についてはどうか。
- ・ 3年生の授業時数に対しての分量が少ない。3年生も行書の復習の課題があったほうがよい。
- 2年生も授業時数に対する分量が少ない。硬筆も少ない。
- 他者と比較してみると、4者の中で一番ページ数が少ない。その分、やや資料が不足している。

- ・ 内容は少ないが、毛筆と硬筆の学習内容の分量・バランスも良く、各学年の配当時数の中で、無理なく学習計画が立てられる分量となっている。
- 使用上の便宜はどうか。
- ・ 1年生、2年生、3年生と学年ごとに色分けしており、使いやすい。
- 色別にしているので、見分けができるのでよい。
- 毛筆補充教材の手本の種類が多い。
- p14 点画の組み立ては例字が小さすぎる。
- ・ 行書学習の組み立て方・課題の内容・分量がよい。行書の確実な上達が見込める。
- p36 行書と楷書の違いが分かりやすい。あとの学習にもつなぎやすい。
- ・ 動画資料が「基礎編」しかなく、毛筆で楷書・行書を書く際の筆使いや運筆を動画で確認すること ができない。
- ・ 毛筆の書き方動画はどこから入るのか分かりにくい。
- 片付け方の動画があるのはよい。
- 印刷・製本はどうか。
- イラスト(キャラクター)が子どもの絵も筆の絵も粗末である。
- ・ 選定の観点はどうか。
- ・ 全体に、説明→毛筆→硬筆→コラムの構成に統一されているので、学習の流れを定着させることができる。
- これは使用上の便宜に含まれるのではないか。
- 合意。
- ・ 毛筆で書いて確かめた内容を、「書いて身につけよう」などの豊富な書き込み欄をとおして、硬筆の 文字に生かすことができるように工夫されている。
- ・ 他教科との関連教材は設けられているが、なぞり書きをするだけのところが多く、身につけた書写 の力を生かせる内容にあまりなっていない。
- ・ 2年「やってみよう 情報誌を作ろう」は日常生活の中で機会があまりないように思われる。また、 「情報誌」作成の準備のための負担が大きい。

# 【教育出版】

- ・ 教育出版に移る。
- ・ 内容の程度はどうか。
- 1年生の毛筆課題が充実している。
- 他者と比べてどうか。
- 三省堂は補充教材として課題を挙げているので、特別充実しているというわけではないのではないか。
- ・ 第1・第3学年は、教科の目標達成に結び付く内容になっている。程度も学年の発達段階に適している。
- ・ 第2学年は「楷書または行書を選んで書く」という目標に沿った内容ではあるが、楷書と行書の使い分けが示されていないため、該当しているかどうかがわかりにくい。
- ・ 行書の課題が楷書に近いのではないか。
- ・ 他者と比較してみるとどうか。

- 「初志」や「新緑」は丸みがない部分がある。
- ・ 最初にノートのまとめ方があり、これからの「学び」に対する意識・目的がはっきりする。国語科 だけではなく、他教科の整理の仕方があるのがよい。
- 行書の5つの特徴をまとめた教材がないため、行書の基礎的な書き方を理解しにくい。
- 「考えよう」で行書の特徴を確認しているので、最終的には理解できるのではないか。
- ・ 授業で身に付けることなので、まとめていなくてもよいと思う。それよりも、一時間の学習で何が 身についたか、何を理解したかを生徒が分かる方がよい。
- 合意。
- ・ 内容に関する配慮事項について。
- p. 14 筆圧の説明が、分かりやすい。横画、縦画などの基本点画と併せて表記しているので、理解 しやすい。
- ・ 文字の大きさと配列では、短冊、半紙の書式が掲載されている。また、色々なサイズの紙に、2~ 5行などで書いている手本を載せているのがよい。作品の最後に、「○○の詩 △△かく」と記して いるのもよい。他の3者には、書かれていない。
- 合意。
- p. 43 楷書と行書の違いが分かりやすい。
- ・ p26、66 楷書・行書に調和する仮名のポイント解説がないため、どのように書くのか、工夫を考えることが難しい。
- ・ 2年生の学習、p72 は、1分間でどこまでかけるか試し書きをするようになっているが、手本なしで行書を書くには、かなりの練習量をこなす必要がある。この時点での練習量は、不足している。なぞり書きか手本を付けてほしい。
- ・ まとめ書きの欄ではお手本がないところがあり、苦手意識をもっている生徒にとっては難しいのではないか。
- ・ 「書写テスト」は学習内容に沿っており、評価や入試対策として活用できる。
- · 合意。
- ・ 筆記用具や硬筆練習、教材を選択する場面があり、生徒が主体的に取り組むことができるように工 夫されている。
- 分量はどうか。
- ・ 1年生で、毛筆の楷書・行書の学習がしっかりできる計画になっている。
- ・ 硬筆での行書の学習量が少ない。p52,53 は、まとめと応用になっており、練習量の少ないまま、応 用に入ることになるので、難易度が高い。
- ・ 全体の分量は、授業時数から見て適切であり、内容に隔たりがなく調和がとれていると思う。
- 合意。
- ・ 使用上の便宜はどうか。
- ・ p.4 ひと目で、実生活に書写の学習を生かそうというメッセージが伝わり、書写のねらい・学習の 進め方が明記されているのがよい。
- ・ 全体に毛筆→硬筆→コラム(発展)の流れで統一されていてよい。
- ・ p.69「短歌を短冊に書く書式」は、国語で短歌を創作する指導と並行して活用することができる。 短冊、半紙の書式が掲載されているのもよい。
- 合意。

- ・ 読みがなや筆順が示された字が多く、動画収録、学習手順の提示により、すべての生徒が学びやすく、文字を正しく書くことにつながっている。
- ・ 話し合ったことや考えたことを書く欄が用意され、学習の深まりに有効である。
- 合意。
- ・ 硬筆での行書学習は、スモールステップが必要であると考える。その手立てがほしい。
- p86「発展」という文字が小さく、目次にも明示されていないので、発展的な学習内容であることが 分かりづらい。
- ひとつのQRコードに動画をまとめているので、教師が書き方を示す場合は都合がよい。
- ・ 上から撮影の動画は生徒目線で分かりやすい。運筆などを動画で視覚的に確認することができるようになっている。
- ・ 行書の学習では、考えようで「~させた結果、速く書くことができた」など、速く書くことができるポイントを最後に確認できるようになっている。
- ・ イラストや写真が効果的に使われていて、学習内容や活動内容が理解しやすい。
- ・ 学年ごとにページが色分けされているので、分かりやすい。
- ・ 本の大きさがAB版なため、机上では使いづらい。横広い形になっているが、書写の手本として机 上に置くなら、B5サイズがコンパクトでよい。
- ・ これまでB5サイズだったので、多少の使いづらさはあるだろうが、教科書の手本が半紙形を維持 しているので、書き始めの位置や字形の整え方、文字の大きさと余白の取り方は分かりやすいと思 う。
- · AB版は生徒が自主的に学習するときには、都合がよいのではないか。
- ・ 印刷・製本はどうか。
- 紙がざらざらして違和感がある。
- ・ 用紙の軽量化を図っているからではないか。
- ・ 鉛筆で書くことを考えると、紙質はこの方がよいのではないか。
- ・ 選定の観点について。
- p8「学習の進め方」は主体的、課題解決的な学習が重視されているとともに、毛筆が硬筆による書 写の能力の基礎を養うという根幹を押さえている。
- ・ 国語・数学・理科・社会・総合的な学習など、各教科との関連を図っている。
- ・ 他者に比べて関連した内容は多い。
- pp. 30~36 他教科の学習に活用できる。
- p.82 新聞・ポスター・案内状について掲載されている。
- ・ p. 100~この書式集を書写で扱うと、様々な学習場面で好都合である。
- p.110 他教科につなぐことができる。
- ・ 他教科の教科書を取り扱っているからこそできる内容である。
- 合意。
- ・ 「学習を生かして書く」「学校生活に生かして書く」「書写の教室」では、習得した書写の力を各教 科の学習活動や日常生活に生かすことができるよう、関連付けられている。
- ・ 小学校・高等学校との関連が分かりづらい。
- ・ 直接ここが小学校とのつながりであると書かれていないだけなので、あえて取り上げる必要はない のではないか。

合意。

#### 【光村図書】

- ・ 光村図書に入る。
- 書写ブックがあるのがありがたい。
- 書写ブックでは、楷書・行書の学習が、復習から順を追って確認できるので、適切である。
- ・ 毛筆課題では、1年生「天地」「春風」で楷書の基本点画が網羅され、行書「緑」「大」「大木」「北西」「月光」と、行書学習の最初に適している。2年生の行書では、「雲海」「紅花」「豊かな心」「深まる秋」と、行書の発展学習にふさわしい内容になっている。また、3年生での課題も、難易度も適切である。
- ・ UD 書体の紹介があり、筆記ではなく、パソコン使用の際の文字の選択のありかたを考えることができる。将来の社会を見据えている。
- UD 書体がどのようなものかを知ることができる。
- ・ 第3学年エ(ア)「効果的に文字を書くこと」についての学習内容が分かりにくい。
- 内容に関する配慮事項はどうか。
- ・ 漢字字典には、楷書と行書を比較した「人名漢字表」も掲載されており、生徒が自分の記名に対応 しやすい。
- ・ 最初の書写ブックでは、1ページから2ページに、ひとつの学習テーマになっており、何について 学ぶかが明確になっている。硬筆の手本が、書写学習に適している。
- ・ 毛筆についても、学習する内容が絞られており、「点画の変化」などのタイトルの文字、「考えよう」 など活動内容の文字も大きく、ひと目でわかる。
- ・ 毛筆では、筆圧が数字で示され、文字を書く際の力加減が分かりやすいよう配慮されている。
- ・ 行書の見開きのお手本では名前も書かれており、字の大きさや配置が分かりやすく、個に応じた指導への配慮がされている。
- 「日常に役立つ書式」は多様な書式が具体的に記載されている。メールもあり、社会でも役立つ。
- ・ 他者にも類似するものがあるので、取り上げなくてよいと思う。
- 合意。
- ・ 楷書の学習では、毛筆課題の解説があまりされておらず、ポイントが分かりづらい。
- p87 このイラストは、パンフレットではなく、リーフレットである。
- パンフレットは冊子になっているもので、リーフレットは一枚の紙を折ったものなので、この絵で 見るとリーフレットになる。
- p92 全国マップの写真にもっと解説が必要。
- 分量はどうか。
- ・ 毛筆に課題が9つある。練習+清書で2時間とすると、少し分量が多いかもしれない。選択課題、 または、資料として取り扱うなら適量である。
- ・ 必要な事柄が最低限度まとめられており、授業時数に適応している。情報量が最低限度であるため、 支援を要する生徒にも配慮されている。
- ・ 毛筆と硬筆の学習内容の分量・バランスもよい。
- ・ 資料が73ページあり、充実している。
- 他者も充実しているので、特化するほどまではないのではないか。
- ・ 使用上の便宜はどうか。

- ・ 教科書にワークブックがつけられており、別冊を購入しなくても学習できる。
- ・ 現行でおろそかになっていた筆順や年賀状の書き方も押さえられており、書写をより日常生活に生かすことができるようになっている。取り外して別冊になるのも使いやすくてよい。
- ・ 3年間使い続けられる紙質なのか、切り離した後の管理に課題がある。
- ・ 学習のはじめが p32 になっているので、硬筆のワークシートを後方に持って行ったほうがよい。
- 片づけ方の動画あるのがよい。最初の書写の授業で、指導するのに適している。
- 目次が、字が小さく、詰め込みすぎている。
- ・ 「楷書と行書と使い分け」で区切っているが「p66・1 学年と2 学年の区別」「p92・2 学年と3 学年 の区別」が分かりにくい。
- ・ p8,18 の名文を行書で書くは、国語の学習とのつながりがあり、p20 の書写テストに挑戦しようは、 入試の実情にも合っている。
- p96 の「文字の使い分け」で提示した明朝体の「は」は、2、3 画目が連続しており違和感がある。 下部掲載の「永」で比較した方が明朝体とゴシック体の使い分けを学ぶのに効果的なのではないか。
- 年賀状の例(p118)に日付がないのは、はがきの基本形式と異なり、指導上不都合である。
- p105 で例として示した伊藤美誠の筆跡は、文字を正しく整えて書く指導を行う書写学習の資料と してそぐわないのではないか。
- 「学習の窓」には目標に沿ったポイントが書かれており、学習の深まりに有効である。
- イメージするものが生徒に分かりづらいところがある。(「笹の葉をイメージしよう」)
- ・ 硬筆練習ではお手本が左になっている欄が多く、左利きの生徒は書きづらい。
- ・ QRコードは、各ページに設けられており、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、 自主的・自発的な学習を促すとともに、個に応じた指導に対して有効である。
- ・ QRコードは教師が教室で示すには、バラバラであるため、関連を示す際には不都合が生じるのではないか。用具の準備・片付けについても、手順が分かりやすく解説されている。
- 動画は、斜めからの撮影であり、全体の形が確認しにくい。
- 印刷・製本はどうか。
- 紙面の構成がすっきりしており、使いやすい。
- ・ 最初の硬筆ワークシートの構成が、地味で暗い印象になっており、生徒の意欲を喚起しないのではないか。
- ・ 硬筆ワークシートの点画が変化している部分は、赤で色を変えていて、分かりやすい。手本をなぞ れるようになっているので、生徒の学習に効果的である。
- 「速さを比べてみよう」の構成や「全国文字マップ」開設などは、やや粗雑な印象を受ける。
- 先ほど出たリーフレットも印刷・製本で挙げた方がよいのではないか。
- 合意。
- ・ 選定の観点はどうか。
- p. 36「学習の進め方」は主体的、課題解決的な学習が重視されているとともに、毛筆が硬筆による 書写の能力の基礎を養うという根幹を押さえている。
- ・ 行書学習の組み立て方・課題の内容・分量が、たいへんよい。行書の確実な上達が見込める。
- これは分量で挙げた方がよいのではないか。
- 合意。
- ・ 書写ブックが付いており、毛筆で学習したことを、硬筆で繰り返し練習することができ、文字を正

しく整えて書く力を高められる。また、学習内容を確実に身に付けることができる。

- 国語の教科書と連動できる教材が豊富に設定されており、言葉や表現への理解が深められる。
- ・ 国語以外の教科との関連があまり見られず、書写の能力を各教科等の学習活動に生かすことができ る内容か少ない。
- ・ 学校生活や日常生活に書写の能力を生かす題材について例がやや少なく、手順や活用の仕方などの 説明が具体的にされていない。
- ・ 本日は、ここまで。次回は、報告の整理を中心に研究調査を行い、まとめていく。また、学校や市 民の意見も参考にしながら、まとめていく。

令和2年7月3日(金) 教育センター 202室

13:40~ 選定基準の読み合わせ

13:55~ 調査研究・討議

協議:司会(主幹教諭)

- ・ それでは、前回出た意見をまとめたものをご覧いただきたい。今回は、学校や市民の意見を参考に しながら報告書の整理、まとめを行っていく。市民の意見は一件である。
- これは取り上げてよいのではないか。
- 合意。
- ・ では、次に学校からの意見である。まずは、意見を読んでいただきたい。その後調査研究・討議を 行う。
- ・ 一つ一つを細かく見て、ページ数まで書く必要はないが、先生方の声がきちっと反映できるように これが必要という内容を入れていただきたい。

#### 【東京書籍】

- ・ 内容の範囲及び程度の、「『書写で学ぶこと』が巻頭にあり、3年間見通せる内容になっているが、 説明は詳しく記述されているが、紙面が整理されていないため、分かりづらい。」は学校からも出て いる。
- 学校の意見では、よい点とそうではない点を分けて書いているので前半と後半を分けてはどうか。
- 合意。
- ・ 内容に関する配慮事項の「教材の硬筆文字から普段書いている文字の課題を見出し、解決について 考えたり言葉に表したりする活動が設定されている。問題解決型の学習となっており、主体的な学 びへとつながっている。」は、学校からも多く意見が出ている。
- 合意。
- これは今回の東京書籍の魅力ではないかと思う。
- ・ 使用上の便宜の「硬筆を書くコーナーが多いのはよい」は学校からも多く意見が出ている。
- ・ 年賀状の例も学校から意見は出ているが、たくさん出ているわけではないので、これは学校の意見 としてあげなくてよいと思う。
- 「デジタルコンテンツが利用でき、一つのQRコードにまとめているので、教師が示す場合は使い

勝手がよい。」についてだが、前回、まとめているのがよいのか、各ページにあるほうがよいのかで それぞれ利点があるので、書きぶりを変えていたが、光村はそれぞれのページプラスすべてをまと めたQRコードもあったので、QRコードについては、「まとめているので良い」と記載していると ころは、削除してよいのではないか。

- 合意。
- ・ 印刷・製本の「毛筆教材は半紙の比率に合わせてあり、半紙での配列の参考になる。」も学校から意 見が出ている。
- ・ 前回、表紙のことが上がっていたが、表紙については今回の選定基準の内容には含まれないと思う ので、削除してはどうか。
- 合意。
- ・ 選定の観点の「各学年に『生活に広げよう』という学習が設定されており、国語や他教科や日常生活に生かすことのできる内容になっている。また、具体的な場面に沿って書写の学びをどのように生かすのかを考えさせることができるようになっている。」も学校から意見が出ている。
- ほかに意見はないか。

#### 【三省堂】

- ・ 内容の範囲及び程度の「第1学年で、行書についてしっかり時間をかけ、習得する内容になっている。」は学校からも意見が出ている。
- ・ 内容に関する配慮事項の「『書いて身につけよう』で繰り返し文字の練習ができるようになっている。 また、練習欄は『線あり』から『線なし』になっており、段階的に練習することができ、個に応じた 指導への配慮がされている。」と「『書き方を学ぼう』では、どこに気をつけて、どのように書けば よいかが分かりやすく示され、自学で活用できるよう工夫されている。」が学校から出ている。両方 とも取り上げてよいと思う。
- 合意。
- ・ 分量の「第3学年の授業時数に対しての分量が少ない。第3学年も行書の復習の課題があったほうがよい。「第2学年の授業時数に対する分量が少なく、全体的にページ数が少ない。」は学校からも出ている。
- ・ 全体的にページ数が少ないのは2年生なので、このままのほうがよい。
- ・ 資料が少ないとあるが、実際とても少ないというわけではない。資料がたくさんある教科書がある からそのように感じるので、消去してよいと思う。
- 内容が少ないから各学年の配当時数で無理なく学習はできる。
- ・ 毛筆と硬筆の学習内容の分量・バランスについては、少ないので削除したほうがよい。
- 合意。
- ・ 使用上の便宜の「第1学年、第2学年、第3学年と学年ごとに色分けされており、使いやすい。」は 学校からもあがっている。
- 三省堂が一番わかりやすい。
- 「p36 行書と楷書の違いがわかりやすい。あとの学習にもつなぎやすい。」も学校からの意見が出ている。
- ・ 両方取り上げてよいのではないか。
- · 合意。

- ・ 印刷・製本で「紙の性質がつるつるしており、書きづらい。」という意見が出ている。
- 意見として取り上げてよいのではないか。
- 合意。
- ・ 選定の観点の『毛筆で書いて確かめた内容を、「書いて身につけよう」などの豊富な書き込み欄をと おして、硬筆の文字に生かすことができるように工夫されている。』も学校から多く意見が出ている。
- ・ 他にないか。

# 【教育出版】

- ・ 内容の範囲及び程度については、特に多い意見はない。
- ・ 内容に関する配慮事項の「2年生の学習、p. 72 は、なぞり書きか手本を付けてほしい。手本なしで 行書を書くには、かなりの練習量をこなす必要がある。この時点での練習量は、不足している。」と 「まとめ書きの欄ではお手本がないところがあり、苦手意識をもっている生徒にとっては難しい。」 が学校からも意見が出ている。
- これは一つにしてもよいのではないか。
- お手本がないことで苦手意識のある生徒が難しく感じるのが課題なので、この部分を残してほしい。
- 「短冊、半紙の書式が掲載されているのがよい。」が内容に関する配慮事項と使用上の便宜の両方に 書かれているがよいか。
- 指導に関する部分を使用上の便宜にしてはどうか。
- 合意。
- ・ AB判がよいという意見とそうではないという意見が出ているがどうするか。
- それをここで討議するのではないか。
- ・ 机の上に教科書を置いてお手本代わりにすることを前提にしているのか、東京書籍のように比率を 半紙に合わせておき、お手本を印刷することを前提にしているのかで、サイズは変わってくる。
- ・ 前回も出ているが、半紙のサイズを維持した紙面なので、文字の大きさや余白の取り方はわかりや すいと思う。
- これは印刷・製本にした方がよいのではないか。
- 合意。
- ・ 印刷・製本で「紙がざらざらしている」とあるが、鉛筆で書くことを考えると、ざらざらしている 方がよいのではないか。実際に書くことはできないので、これは削除することにしてはどうか。
- 合意。
- 選定の観点は三点すべて上がっている。
- ・ 「p8『学習の進め方』は主体的、課題解決的な学習が重視されているとともに、毛筆が硬筆による 書写の能力の基礎を養うという根幹を押さえている。」は選定の観点でよいか。
- 分けたほうがよいのではないか。
- ・ 前半が内容に関する配慮事項で後半は選定の観点にするとよい。
- 合意。
- ・ 光村図書も同様なので、変更してほしい。

#### 【光村図書】

・ 内容の範囲及び程度の「書写ブックでは、楷書・行書の学習が、復習から順を追って確認され、適

切である」が学校からも意見が出ている。

- ・ 「UD書体の紹介があり、筆記ではなく、パソコン使用の際の文字の選択のありかたを考えることができる。将来の社会を見据えている」も出ている。
- どちらも取り上げてよいのではないか。
- 合意。
- ・ 三年の内容の「効果的に文字を書くこと」の学習内容に該当するところが分かりにくい。指導要領 との対応が明確であるほうが、若年にとってもよいのではないか。
- 合意。
- ・ 内容に関する配慮事項は「漢字字典には、楷書と行書を比較した「人名漢字表」も掲載されており、 生徒が自分の記名に対応しやすい。」が学校から出ている。
- 「分量が多い」は学校から意見が出ていない。
- ・ 選定の観点にある「行書学習の組み立て方・課題の内容・分量が、たいへんよい。行書の確実な上達が見込める。」を分量のところにしてはどうか。
- 合意。
- ・ 「毛筆と硬筆の学習内容の分量・バランスもよい。」は学校からも意見が出ている。
- ・ 使用上の便宜は「教科書に書写ブックがつけられており、別冊を購入しなくても学習できる。また、 現行でおろそかになっていた筆順や年賀状の書き方も押さえられており、書写をより日常生活に生 かすことができるようになっている。取り外して別冊になるのも使いやすくてよい。」が学校から出 ている。
- ・ 「QRコードは、各ページに設けられており、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、自主的・自発的な学習を促すとともに、個に応じた指導に対して有効である。」も学校からも出ている。
- 「速さを比べてみよう」と「全国文字マップ」については、同様のことが学校からも出ている。
- ・ 印刷・製本の「最初の硬筆ワークシートの構成が、地味で暗い印象になっており、生徒の意欲を喚起しないのではないか」という意見は、学校から出ていないので、削除してよいのではないか。
- 合意。
- ・ 「印刷が鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式や材料などが適切である。」という 意見が学校から多く出ている。
- 取り上げてよいのではないか。
- · 合意。
- ・ 「選定の観点の「p36「学習の進め方」は主体的、課題解決的な学習が重視されているとともに、毛 筆が硬筆による書写の能力の基礎を養うという根幹を押さえている。」は先ほども出たが、前半を内 容にした方がよい。
- ・ 「国語以外の教科との関連があまり見られず、書写の能力を各教科等の学習活動に生かすことができる内容か少ない。」と「学校生活や日常生活に書写の能力を生かす題材について例がやや少なく、 手順や活用の仕方などの説明が具体的にされていない。」は学校から意見が出ていない。削除してよいのではないか。
- 合意。
- ・ 学校からの意見で「国語科や他教科、道徳、日常生活と関連付けながら、書写の能力を育成することができる内容となっている。」とあるが、取り上げてよいのではないか。

- 合意。
- ・ 全体的に各項目で「書写ブック」を取り上げているが、使用上の便宜にまとめられるところはまとめてはどうか。
- 合意。
- ・ 以上で4者全ての協議が終わった。報告の整理に入る。

16:00~ 大型テレビに様式を移して観点ごとの内容を整理。

16:20~ 印刷・確認 → 修正

16:40~ 鑑文に押印・片付け

17:00 終了

令和2年6月29日(月) 教育センター206室

13:40~ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認、各自資料とり等)

13:50~ 選定基準の読み合わせ、個別の調査・研究

14:10~ 各自の調査研究の読み上げ

協議:司会(教頭)

#### 【東京書籍】

- ・ それでは、東京書籍について「選定の観点ごと」に進めます。日本の略地図の描き方についてど うでしょうか。
- ・ 東京書籍は、かなり詳しく書かれています。ここまで詳しいのはあまりないです。
- 世界の描き方も結構詳しいです。
- では、次にSDGsとの関連についてはどうですか。
- ・ SDGsの考え方が学習した後に出てきます。初めに提示された方が扱いやすいです。
- ・ 地球的課題については関連させながら取り扱わないと難しいと感じます。
- 地球的課題が明確に示されておらず、本文の中に課題が書かれているので、読み込まないと捉えられないところはあるかと思います。
- 日本の諸地域の観点はどうですか。
- あまり問題はないかと思います。
- 時差についてはどうですか。
- 概念としては、丁寧に説明されているのかと思いましたが、いかがでしょうか。
- 説明は丁寧だけど、問題は少ないなと感じました。
- 次です。ブラジルのスラムの記述についてです。
- ちょうどニュースに出ていて、あまりないなと思いました。
- たしかに少ないです。
- ・ 地球的課題で何を設定しているかの違いもあると思いますが。学習指導要領の中で、スラムを取り上げないといけないということはあるのでしょうか。
- ・ 記述自体は、どの教科書にもあるようです。あえて、ブラジルで取り上げないといけないということはないと思います。
- ・ 別の点で、熱い地域など伝統的な家などは出てくるが、それ以外の生活にかかわるものが少ない ように感じます。
- ・ 学習指導要領の内容の取り扱いで、衣食住の特色や生活と宗教の関連を取り扱うというようにあるので、写真資料について生活との関連が捉えにくいということでしょうか。
- 確かに、どのような暮らしをしているのかっているのは捉えにくいかもしれないです。
- 全部ではないけど、一部捉えにくいものもあるという感じです。
- ・ また、世界の様々な地域の特徴的な雨温図と東京の雨温図を載せて、日本との比較なので、これ だけでは、地域の気候の特徴は捉えにくいかなと思います。
- 私は、東京都をいつも掲載しているので、比較して特徴はとらえやすいと思うのですが。

- ・ ここでどこまで求めるかということですが、自分たちの地域と違うということがわかればよいことであれば、東京都と比べることに意味はある。ただ、各気候区分の特徴をとらえるということであれば、これだけでは難しいと思います。
- ・ 指導する側としては、一度に出てきてほしい。いつも日本との比較ではなくて。
- ・ 別の視点で、世界の略地図です。赤道がどこを通るかですが、ポイントとしては、シンガポール の南側、アフリカの細くなっているところ、アマゾン川の河口のところを通るという点だと思う。 それらのポイントが押さえられていない。丁寧には解説してありますが、もう少しシンプルでポイントが押さえられるとよいかと考えます。
- ・ 北方領土についての記述が気になるのですが、その点はどうですか。
- ・ 自分も同じで、歴史的な事項に触れられていないと思います。
- ・ 一単元ごとの取り扱いは、とても丁寧ですけどね。小学校で習ったことの関連も明確に示せていると思います。
- ・ 北九州市の事例を記載されていることも、小学校の学習を想起する上でよいです。既習の事項から内容を広げることもできるのでよいです。
- ・ 今、教科書は必ずしも持ち帰らせてはいないと思うのですが、QRコードは家に持ち帰ることができるのであれば有効だと思うのですが、学習の中で活用する上で、QRコード以外で他分野の関連が分からないのは使いづらいなと思います。
- 分量の面ではどうですか。
- ・ 文章は丁寧です。でも、図などを見たときに、地図に経線が入っていないなど、資料についても う少し配慮が足りないと思う。また、文章が丁寧な反面、説明が難しく、小学校から上がってき た1年生にとっては理解が困難だと思う。
- ・ 注釈は分かりやすい説明がありますけど、本文は確かにそうです。また、時数でいうと、全体的 に少ないと感じます。特に、産業構造の学習は1単位時間で足りるのかなと思います。
- ・ 次に行きます。先ほどQRコードだけではということはありましたが、でも中身はとても面白いです。ただ、QRコードがその場所に載ってないので、使いにくさはあります。でも、巻末は充実していますね。
- 印刷・製本にいきます。
- ・ 色遣いが大分おだやかなので、明暗がそんなにないなと感じます。授業中説明を口頭でするとき に、中途半端な色だと難しいときがあります。
- ・ 最後に、選定の観点にいきましょう。先ほどの観点の重なるところもあると思うので、どちらの 観点がよりふさわしいかを考えましょうか。
- ・ 思考ツールが多く紹介されていることはよいと思います。
- 最後にいいですか。先ほども言いましたが、細かい配慮が足りないなと感じます。例えば、ヨーロッパの地図に同緯度、同縮尺の日本の地図が配置されていないなどです。
- 一か所あるのですが、分かりにくいです。
- ・ 東京都の比較ができることもいいと思いますが、授業をするときに使いにくいなと思います。実際使うときに、あっちを見たり、こっちを見たりしないといけないところが難しい。

#### 【教育出版】

・ 続いて、教育出版にいきます。「領土問題について」はどうですか。

- ・ 平和的解決についてはでてきていますが、歴史的なことにあまり触れられていないことや、尖閣 諸島で「解決すべき領有権の問題は存在しない」という明確な記述がないことが課題だと思いま す。
- 世界の略地図についてどうですか。
- ・ 15ページですが、説明がざっくりです。教師がかなり解説してあげないと、ポイントが押さえられない内容になっていると思います。日本の略地図については、もっとざっくりです。
- ・ 世界の諸地域の地球的課題と日本の諸地域の観点についてどうですか。
- ・ 近畿地方を歴史的背景でやることは、修学旅行の際にイメージをもちやすいです。 意義などをと らえやすいです。
- 3年生でより理解を深められるということはあります。
- ・ オセアニアが他民族の共存の問題を取り上げていますが、北アメリカでも取り上げているので、できたら、他地域との関係など、別の課題を取り上げたほうがよいと思います。生徒もそこは関心をもつところなので。もちろん、他地域との関係も書いていますが、あまりそこにフォーカスされてないので、そちらを中心に記述されるとよいです。
- ・ SDG s についてはいかがでしょう。
- ・ 取り上げる事項がすくないです。「地理の学習を始めるにあたって」のところに記述があるだけで す。
- 時差についてはどうですか。
- ・ 20ページもよく読めば分かりますが、生徒からしたら難しいと思う。明るい暗いだけでも色分けされるだけで全然違う、その配慮があるだけで、生徒は直感的に理解しやすくなります。
- 確かに教えにくいです。
- ・ では次に、内容に関する配慮です。
- ・ 気候が、東京都の比較ではなく、同じ気候帯での比較になっているので、こちらの方がよいと思います。また、北九州市の事例が多いです。あと、自分が内容解説を読んでなるほどと思ったのが、高校で日本の諸地域はあまりやらないので、中学校で丁寧に扱うというのは大切だということです。
- ・ 資料活用の技能を磨く記述が少ないです。また、略図で標準時子午線や東経135度の経線が強調されていないので、押さえどころに触れられない感じになっています。
- また、単元を貫く問いの設定がないですね。引き続き、分量にいきます。
- ・ ヨーロッパの学習について、ロシアを見開き2ページで取り扱っています。これは、一単位時間 なので、冷帯から寒帯にかけての学習が充実すると思います。
- ・ 使用上の便宜はどうでしょう。
- 教育出版は、内容的にものたりなさは感じるのですが、説明はやさしいです。
- 諸地域の学習で、地勢図があることはよいかなと思います。
- ・ 地図帳を使うことや使い分けることは大事だと思いますが、一冊で一目でわかるというのはあり がたいと思います。
- ・ 雨温図が地図の都市と一致していないのはとらえにくいです。ところどころ、欲しいものがないです。
- ・ 印刷・製本になると思いますが、写真資料が少ない。また、大きすぎたりする。
- ・ 確かに、もうちょっときれいにレイアウトできないかと思いますね。例えば72ページです。特

別に支援を要する生徒は理解が難しいと思います。

- ・ 最後、選定の観点にうつります。
- ・ 問いについては、分かりやすく易しいのですが、易しいが故に、何を目標とするかが明確でない と感じます。明確な視点をもった、問いとなるとよいと思います。
- 「○○の言葉をつかって」や「□□の資料をつかって」など問い方ですね。わかりやすいといえばわかりやすいですが。
- 平易であることはいいけど、もうステップ上の課題もあるといいです。
- ・ まとめと表現もテーマの投げかけだけではなくて、思考ツールなど考え方なども学べるといいと 思います。

#### 【帝国書院】

- 続いて、帝国書院に行きます。内容の範囲及び程度についてです。
- ・ 略地図の描き方、相変わらず重視してみたんですが、正確に示されていると思います。また、日本の諸地域でイラスト地図が掲載されています。これがあると、生徒の実態にあわせて活用できると感じました。
- ・ 領土問題もしっかりと正確に表記されています。日本の諸地域の観点はどうですか。
- ・ 近畿が環境保全になっていますが、そんなに違和感ないです。世界の諸地域のヨーロッパの課題 もおもしろいと思います。
- ・ 次に、内容に関する配慮事項です。
- ・ 必ず写真があって、キャラクターの疑問ではじまるようになっています。
- では、分量です。
- ・ 資料が圧倒的に多いです。
- ・ 全部使うのはきついですけど、こちらが選択できるのはいいです。学習課題を解決する道筋に応じて資料が選べることはいいです。
- では、使用上の便宜です。
- ・ 前の教科書にもありましたが、帝国書院は東京都と比較させることになっています。巻末資料の 解説は丁寧ですが、鉱物が3つしかないです。ボーキサイトがほしいです。
- ただ、巻末は索引のみです。
- ・ では、印刷・製本です。小口部分が色分けされているのは使いやすいです。ただ、地図の赤文字 がちょっと目がちかちかします。
- 文字が太いので、なんとなく圧迫感があります。
- では、選定の観点にいきます。
- ・ 比較写真が多く、相違点や共通点から特色がとらえられることはよいです。
- 119ページですが、すごくよくまとめられていて、逆に、これ以上書きようがない感じがします。 これで完成形のような感じがするので、もう少し考える余地があってもよいのかと思います。
- はじめの学習であればわかるけど、南米だからここまで詳しくなくていいですね。
- ・ 本日は、ここまでです。次回は、日本文教出版の分の研究調査を行い、まとめていきます。また 学校や市民の意見も参考にしながら、まとめていきます。

### 令和2年7月8日(水) 教育センター206室

13:40~ 選定基準の読み合わせ、個別の調査・研究

13:55~ 各自の調査研究の読み上げ

協議:司会(教頭)

#### 【日本文教出版】

・ 本日は、日本文教出版からいきます。前回、皆さんから出していただいたものを整理していただいていますので、それを基に内容の範囲からお願いします。

- ・ めあて、まとめのことや記述については別の項目に移しました。世界的諸地域については、特徴的な課題があげられていることや近畿地方の観点が前回同様よい点として挙がっています。課題については、略地図のことやSDGsの内容的な不足が挙げられていました。
- 1点、造山帯のことは教科書のどのページのことなのかということと、観点としてここでよいかということについてご意見をおねがいします。
- ・ 索引をみても造山帯が p. 142 にしか挙げられていないようにあります。地震の多い地域であることをとらえる上で、造山帯の図はあるとよいと考えます。
- ・ 文章では書かれてありますが、やはり資料があることで、生徒がとらえることができるのでほし いところですね。
- ・ 記述も、そもそも造山帯とは何かということが書かれていないように感じます。
- 資料を基に考えるということが社会科では大事だと思います。
- ・ ありがとうございました。では、内容に関する配慮の方に、内容としては触れられているが、資料が不足しているとして挙げておきます。

同じく、内容に関する配慮として、1時間1時間の学習課題と見方・考え方の明示については、成果としてあがっています。課題としては、単元全体の問題がないことから、単元を見通した問題解決的な学習に不十分さがあることがあげられておりました。

また、p. 81 等の「アクティビティ」では、思考ツールが適宜紹介され、学びを深めることができることや小学校や他分野との関連を成果として挙げていただいています。よろしかったでしょうか。

- ここは、それでよいと思います。
- ・ では、続いて分量です。大きく2点、持続可能な社会について取り扱う内容や地域調査の学習の 充実と防災・減災についての記載についてあがっています。どうでしょうか。
- ・ 地域調査は、とても充実しています。
- ・ では、分量はこれで終わります。続いて、使用上の便宜です。よさは、QRコードと索引、課題として、写真や資料の一部活用のしにくさがでています。これで、よいですか。気になったら、後からでもおっしゃってください。では、印刷・製本ですが、これも、これでよいですか。では、選定の観点です。「スキルアップ」「地理+α」「チャレンジ地理」について地理的技能とのつながりや説明・議論する力を養う上でよいかと思います。課題としては、単元を貫く問いが学習の結末が学習前に予測できてしまう部分があるという点が挙げられます。
- これらについては、これでよいかと思います。

#### 【4者再整理】

#### (東京書籍)

- ・ では、これで4者の報告書が一通りまとまりました。ここで、先日の報告書を整理したものをも とに、改めて確認したいと思います。
- 気になるところありましたら、お願いいたします。
- では、東京書籍からいきます。
- ・ よく分からなかったところがあるので教えてください。雨温図について、生活と各地域で二重に なっているという課題点はどういったことなのでしょうか。
- ・ まず、生活というのはどの雨温図を指しているのでしょうか。
- p. 40 のあたりだと思います。各地域というのは、その後の州別のところではないでしょうか。
- ・ 例えば、p. 58 といったところでしょうか。とすると、一目で比較できないとあったんですが、生活で取り扱っている学習と世界の諸地域で取り扱っている学習は学習内容が違うので、一概にそうは言えないのではないでしょうか。
- その意図が授業者に分かっていれば、確かに特に問題はないと思います。
- ・ では、続いて、選定の観点ですが、報告書として全く問題ないのですが、東京書籍には課題が今 のところ挙がっていないのですが、その点は大丈夫だったでしょうか。
- ・ 課題設定でいうと、前回、教育出版の方で、易しすぎるということで課題を挙げていますが、それでいくと、東京書籍はある意味、課題が難しいということになるかと思います。
- ・ 同じ観点で見ることはよいのですが、そうなると、一方では、易しいからだめ、一方では、難しいからだめとなってしまいます。大事なのは、私たちの観点から見てどうなのか、つまり、私たちの観点は、北九州市の子どもにとってどうなのか、どこまで求めるのかといことになりますので、その観点から見たときにいかがでしょうか。
- 確かに、それはそうですね。そうすると、やはり東京書籍くらいの課題がほしいと思います。
- ・ 東京書籍は、言葉の整理が足りないかとは思います。学習内容を振り返ってまとめるのであれば、 まず、内容を整理することはあってほしいなと思います。

#### (教育出版)

- ・ 次に、教育出版に行きます。整理したものを見て、気になるところはありますか。
- 明暗の配慮というのは、p.13のことでよかったのでしょうか。
- ・ いや、時差なので p. 20 です。その左下の 3 番のことです。ここに明暗をつけていただくと、時差 の考えが補足できると思いました。

#### (帝国書院)

- ・ では、最後帝国書院についてです。前回分を整理したものを見て、どうでしょうか。
- ・ 写真等はやはりいいなと思います。しかし、帝国書院の日本の略地図は、同じ緯度になる場所などポイントがあまり押さえられていないところは気になります。例えば、隣のページで 40 度を強調しているのに、なぜすぐ隣の略地図では 40 度を強調しないのかと思います。
- ・ 帝国はまた、最後に語句の解説がないです。この点は、配慮が足りないなと思います。また、統計資料もありません。地図帳との併用を考えているのかもしれないが、教科書だけでも学習できるという点からいうと配慮がないと感じます。

### 【市民・学校からの意見について】

- ・ まず、市民の意見について検討していきたいと思います。すでに、私たちの意見として出ている ものもあると思いますが、別の視点からの意見については、取り上げておくべきかどうか、取り 上げない場合は、その根拠も含めて検討をお願いします。
- ・ 帝国書院の気象災害に対する意見ですが、一般的な災害事象だけでなく現代的な災害事象もとい うことです。ただ、他者についても同じ視点で検討お願いします。
- ・ 主訴は、世界規模の事象をということですね。エルニーニョやフェーン現象ということだと思う のですが、そうなると、理科ですね。災害の該当ページでいうと、帝国が pp. 148、149。教出は、 pp158、159。東書は pp. 164、165。日文は pp. 146、147 となると思います。
- ・ 私たちの意見としては、帝国書院や東京書籍は、防災・減災の取り扱いはよさとしてあがっています。
- ・ おっしゃっていることはわかりますが、社会は気候ですから、気象は理科で取り扱うことだと思います。
- ・ では、記載内容に大きな変更はなく、防災・減災の視点として(市民)という記載を入れさせていただきます。続いて、北九州市にかかわる記述ということで、3点目とも同じだと思いますが、シビックプライドの観点だと思います。いかがでしょうか。SDGsについては、挙げているのですが、シビックプライドという点は今のところ省いています。
- SDGsと絡めて、シビックプライドとしてもあげてよいと思います。
- ・ そういう視点でいうと、帝国書院は、北九州市が環境都市であることを感じ取らせにくいかと思います。このことから、公害克服について十分に取り上げられていないという点を挙げてはどうかと思います。
- コラムにはありますが、本文で考えると、確かに触れられていないです。
- では学習内容として扱う上での不十分さを課題として挙げておきます。
- ・ 続いて、SDGsの視点ですが、この点は私たちも、同観点で入れているので、そこに(市民) を記載するとよいかと思います。
- ・ 次は、学校からの意見です。各者分担していただいて、特に全体に取り上げた方がよいものを挙 げていただければと思います。まずは、読み取る時間をとります。

#### (東京書籍)

- では、東京書籍からいきます。学校から出ている意見で気になるものをお願いします。
- 特別支援教育の観点から、陰影などが極力控えられているというものがありました。
- 確かに、それは東書の仕様書にもありました。

#### (教育出版)

- ・ 特別な意見はなく、我々と同じような意見でしたが、資料の読み取りに関する内容が少ないとい う意見が一点あったのですが、自分たちが見た中ではそうは感じませんでしたがいかがでしょう。
- 「地理の技」というコーナーの設定が少ないということではないでしょうか。
- コーナーとしてはそうかもしれませんが、資料の読み取りに関するものが少ないかといえば、そう差はないと思いますが、みなさんどうですか。

- ・ 例えば、教育出版の確認や振り返りは、○○について考えようという問いで、■■を基になど、 考えの拠り所になるものが示されていないことはあるかと思います。
- ・ 資料の読み取りの視点の提示という意味では、差があるかもしれません。
- 他には何かあがっていましたか。
- ・ 私たちと同じで、問いがやさしいという視点はありました。また、小学校との関連が図れるとい う点も同じでした。

# (帝国書院)

- ・ 用語解説がないことは、私たちと同じ意見で、配慮が少ないとのことでした。あと、経済的につ ながりが深くなってきている国の記載が少ないというのがありました。
- ・ 具体的にどの地域なのでしょうか。
- どの地域のことをいっているのかがはっきりしないので、その点はよいと思います。

#### (日本文教出版)

- ・ 私たちの意見とほぼ同じでした。気になったのは、書き込めるところが多いというのが、3つの 学校からあがっていました。
- ・ 以上で4者全ての協議が終わりました。
- 16:00~ 大型テレビに様式を移して観点ごとの内容を整理。
- 16:20~ 印刷・確認 → 修正
- 16:40~ 鑑文に押印・片付け
- 17:00 終了

# 専門調査部会(中学校 社会科・歴史的分野)議事録

記録者(松村)

令和2年6月24日(水) 教育センター 207室

13:40~ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認、各自資料とり等)

13:50~ 選定基準の読み合わせ、個別の調査・研究

14:10~ 各自の調査研究の読み上げ

協議:司会(教頭)

- 専門調査部会では、選定基準に沿って、公正・公平に各者の特色を調査していく。しっかりと議論してほしい。
- ・ なお、今回、市民や学校の方からも意見を頂戴している。この教科書採択では、地域で子供たちを育成するという観点から、市民の方や学校の方からも広くご意見をいただいている。学校の意見に関しては、まだ今日は集約できていないが、市民の方のご意見については、おおよそ集まったので、どのような意見があるか、まず、ご一読を。

# 全員 市民の意見を一読する。

- ・ このような市民の方の意見も参考に、調査部会の先生方には、その専門性を十分に生かして議論していただけたらと思う。本日はよろしくお願いする。
- ・ 本日の進め方としましては、各教科書会社の特徴を「選定の観点ごと」に横並びに見ていく。調 査研究したものを発表し、議論を進めていきたいと思う。

# (1)内容の範囲及び程度について

#### 【東京書籍】

- ・ 東京書籍の(1)内容の範囲及び程度については、どうか。
- ・ 内容程度はおおむね中学生の発達段階に応じている。
- ・ 教科の内容も範囲に結び付く内容だ。
- おおむね意見としては程度として適切であり、中学生の発達段階に応じているで、よいか。
- ・ 全体的に各単元で見たときに政治的記述が多いのではないか。特に近現代。為政者の立場から 見ていることが多いかなと思う。庶民の立場から見ている人からみる視点が少ない。
- これについてどうか。
- これは、分量にあたると思う。
- このような意見が出たが、どうか。

#### 全員 異議なし。

・ 東京書籍の内容の範囲及び程度は、教科の目標達成に結び付く内容となっている。学習指導要 領に示す内容が過不足なく取り扱われており、生徒の発達段階に適している。デメリットは、 分量の方にもっていってよろしいか。

#### 全員 異議なし

# 【教育出版】

- 続いて、教育出版については、どうか。
- 教科の目標及び内容に準拠したものとなっている。難易度も適切だ。
- ・ 学習指導要領の内容について、過不足なくまとめられている。
- 異議はないか。

#### 全員 異議なし

#### 【帝国書院】

- ・ 帝国書院については、どうか。
- ・ 文章の難易度も適切である。資料も見やすい。内容も生徒の実態に応じている。
- では、おおむねよいでいいか。
- 異議なし

#### 【山川出版】

- 山川出版の内容の範囲及び程度についてはどうか。
- ・ 世界史の部分が充実しているので、世界史と日本との関わりが見える。しかし、内容の程度が 高校のレベルのようで、難しい。
- ・ 他の教科書に載っていないような歴史の人物や出来事を取り上げている。例えば、公武合体、神 仏分離令などは、発達段階に応じていない。
- これを課題として挙げてよいか。

# 全 員 異議なし

#### 【日本文教出版】

- ・ 次は日本文教出版の内容の範囲及び程度については、どうか。
- ・ 基礎的な内容を平易な文章で書かれている。資料や文章の難易度も適切だ。
- ・ ヒントの数やステップの数などが豊富で、学習課題や内容は生徒の実態に応じている。
- では、内容の範囲及び程度については、おおむねよいか。

# 全員 異議なし。

# 【育鵬社】

- ・ 次は育鵬社の内容の範囲及び程度はどうか。
- 全体を見て、基本的な内容範囲は、生徒の発達段階に応じている。
- ・ 趣意書では、国民としての自覚を育むとして日本の立場からの視点が多いが、国際社会という視点から見た場合、多面的・多角的に記述されているのか。特に満州事変や日中戦争などのところで感じる。
- ・ 黄禍論や聖断等は、子どもたちが理解したり、公正・公平に判断したりするのに、難しい内容ではないか。

# 全員 異議なし。

#### 【学び舎】

- ・ 学び舎の内容及び範囲についてどうか。
- 学習指導要領の内容と整合性が図られている。教科の目標達成に結びつく内容だ。
- ・ アブ・フレイラ遺跡や火縄銃の伝来での倭寇(後期倭寇)の記載など、中学生にとっては 難しいと思われる内容があり、生徒の発達段階に即していない。(p14p92等)
- 異議はないか。

# 全員 異議なし。

# (2) 内容に関する配慮事項

# 【東京書籍】

- ・ 次に内容に関する配慮事項について調査をしていく。東京書籍の内容に関する配慮事項について はどうか。
- 他分野及び他教科に関連を示すマークが充実している。
- ・ 確かに、他者も関連マークがあるが、東書はとても見やすい。また、1年生には、学習課題が平 易な表現で書かれており、発達段階に応じた内容の配慮が見られる。
- 言語活動の充実についてはどうか。
- 単元に「思考ツール」が設定されており、多面的・多角的に考察したことを書いてまとめたり、 伝えたりすることで、言語活動の充実を図っている。
- 課題点はあるか。
- ・ 見開き2ページに「学習課題」「みんなでチャレンジ」「チェック」「トライ」「見方・考え方」「歴史学習にアクセス」等の活動が多く、すべてを一単位時間で取り扱うには多い。
- ・ 発展的な学習である「もっと歴史」は、読み物だけでなく、問いや学習活動が混在しているため、 やや生徒への負担が多い。

・ 今の意見について東書の内容に関する配慮事項の特色として良いか。

# 全員 異議なし

#### 【教育出版】

- 教育出版の内容に関する配慮事項についてはどうか。
- ・ 東書と同様に、「小学校マーク」や地理・公民的分野に関連する項目が分かりやすく明記されており、系統的・発展的な指導が行えるように配慮されている。

#### 全員 異議なし

- 言語活動についてはどうか。
- ・ 「学習のまとめと表現」については、自分の言葉で表現する「書く活動」は多いが、意見交換や 練合などの題材は少なく、「対話的」という観点からはやや不十分である。
- また、問題解決的な学習のページは、用意されているが、キーワードなどの記載が少なく、記述や説明の苦手な生徒には、難しい。
- この意見に対してどうか。

#### 全員 異議なし

#### 【帝国書院】

- 帝国書院の内容に関する配慮事項についてはどうか。
- ・ 帝国書院も「小学校」や「地理」「公民」といった他分野が示されている。特に、「SDGs」 との関連が示されているのはよい。
- ・ 選定基準の言語活動の充実についても、各単元や学習課題のまとめで自分の言葉で説明する 場面や、「タイムトラベル」や「多面的・多角的に考えてみよう」等の課題探究の場面があり、 言語活動が充実している。
- 課題点はあるか。
- ・ 言語活動に関する課題では「書き出そう」「説明しよう」が多く、対話を促すような題材や 課題は少ない。
- ・ 帝国書院についての意見を帝国書院の配慮事項の特色として良いか。

#### 全員 異議なし

# 【山川出版】

- 山川出版の内容に関する配慮事項についてはどうか。
- 各ページの「ステップアップ」や、章末のまとめの課題は、端的でわかりやすく、多面的・ 多角的に考察が可能な内容であり、生徒のまとめのバリエーションが増え、言語活動が行い やすいといえる。
- ・ 他にも文化財の二次元コードから NHK for School のページに移動することで、文化財に関する情報を動画で視聴することができ、生徒の自主的・自発的な学習が促されるように工夫されている。
- 発展的な学習「歴史にアプローチ」は、生徒の身近なテーマ等が設定されており、興味を 持って学習することのできる内容である。そのため、歴史の学習が苦手な生徒の意欲・関心 を引き出せる内容になっている。
- 課題点としては、何かあるか。
- ・ 他分野・他教科との関連性や小学校の学習内容との関連が示されておらず、系統的・発展 的な指導を行うための配慮に欠ける。
- ・ 資料の読み取りの手がかりとして、注目すべきポイントが記載されているが、質問内容が 生徒の発達段階よりも難しいものが多い。
- ・ これらの意見を山川出版の配慮事項の特色として良いか。

#### 全員 異議なし

#### 【日本文教出版】

- ・ 日本文教出版に関する配慮事項についてはどうか。
- ・ 小学校の学習内容や他分野との関連をページ下部に示している。日本文教出版も見やすい。
- 言語活動についてはどうか。

- ・ 資料を基に選択・判断しながら時代の転換期を捉えることができる「歴史にチャレンジ」 や「アクティビティ」を設けており、言語活動の充実を図っている。
- ・ 基本用語解説が本文ページ内にあり、生徒の学習補助に役立つ。
- 課題点はあるか。

#### 全員 特に見られない。

では、これらを日本文教出版の配慮事項の特色として良いか。

#### 全員 異議なし

#### 【育鵬社】

- ・ 育鵬社の内容に関する配慮事項についてはどうか。
- ・ 1単位時間の学習内容を確認するための設問があり、学習内容をまとめたり、「ターニングポイント」のトピックでは、議論が行いやすいテーマを設定したりと、「書く」や「話す」等の言語活動が充実している。
- ・ 「歴史ビュー」や歴史学習の幅を広げ豊かにする「歴史ズームイン」、歴史を動かした人物を紹介した「人物クローズアップ」、「歴史ズームイン」や「このころ世界は」等、豊富なコラムで、生徒の興味・関心を高め、自主的・自発的な学習を促している。
- 課題点はあるか。
- 1 単位時間の学習課題を解決する上で必要となる歴史的な見方・考え方に気付かせる支援 がない。
- 具体的に支援とはどのようなものか。
- ・ 歴史的な見方・考え方の支援とは、単にアイコンや思考スキルのことだけではない。本来資料や本文、問いが多面的・多角的な視点のものがあり、生徒が見方・考え方を働かせることができるようになっていることも踏まえていっている。そうした面で、育鵬社は、どちらかというと一面的な表現や資料が多いと思う。
- 確かに、だから見方・考え方に気づかせる支援がないと言うことか。
- 今の意見についてどうか。
- 学習のまとめにもこの時代は○○な時代と言い切る表現もあった。
- ・ 他にも、各単元のまとめページにおいて、説明を記述させる際、キーワードや例が少ないため、記述の苦手な生徒に対する配慮が足りない。
- ・ これらを育鵬社の配慮事項の特色として良いか。

#### 全員 異議なし

#### 【学び舎】

- ・ 学び舎の内容に関する配慮事項についてはどうか。
- ・ 調べ学習やインタビューの聞き取り方や、討論の方法が丁寧に解説されており、言語活動 の取り掛かりとして優れている。
- ・ 学習課題の設定や課題意識の育成、学習内容の定着を図るために、章の冒頭に「章の扉」、 章末に「章をふりかえる」、部末に「学習のまとめ」、特設ページとして「歴史を体験する」 を設けている。
- 課題点はあるか。
- ・ 他教科や他分野、小学校との関連を図る工夫や配慮が見えづらい。
- 重要語句が一目で認識できず、語句解説も少ない等、学習補助となる手だてとなるものが少ない。
- これらを学び舎の配慮事項として良いか。

#### 全員 異議なし

#### (3)分量

# 【東京書籍】

- 次に分量について調査していく。東京書籍の分量についてどうか。
- 調べ学習の時間も含めても130時間で時数を配置しており、適切だ。
- これについてはどうか。

- ・ 先ほどのところであるが、近現代では、為政者の立場からの記述が多いと思われる。例えば、 戦前、戦後の記述は政府の立場から書かれている。これは政治史を理解する上ではよいが、多面 的・多角的できるかという点では学習しづらいのではないか。
- このことについてはどうか。

#### 全員 異議なし。

#### 【教育出版】

- ・ 教育出版の分量についてはどうか。
- 一文が短く簡潔に書かれている。かつ、1単位時間の文章量も適切である。
- · これについてはどうか。

#### 全員 異議なし。

- 135時間で計画されているのであれば、内容が多いのではないか。
- 復習などの教師が弾力的に使用する時間が限られるのではないか。

#### 全員 異議なし。

#### 【帝国書院】

- ・ 帝国書院の分量についてはどうか。
- 分量についてはほぼ適切である。
- ・ 為政者だけでなく、民衆の視点や経済、文化等の多くの視点から書かれているため、多面的・ 多角的に考察できる。
- これについてどう思うか。

#### 全員 異議なし。

#### 【山川出版】

- 山川出版の分量についてはどうか。
- おおむね全体の分量は時数内に収まっているが、一単位時間の語句の量が多い、文字数も多い。
- このことについては、どう思うか。

#### 全員 異議なし

#### 【日本文教出版】

- ・ 日本文教出版の分量についてはどうか。
- 内容が精選されている。予備時間も余裕がある。見開き2ページで一授業時間を原則としているので、よい。
- このことについて意義はないか。

#### 全員 異議なし

#### 【育鵬社】

- ・ 育鵬社の分量についてはどうか。
- 時数のバランスがとれている。
- ・ 本文自体は時数、内容が多くはないが、活動、トピックも時数としてカウントしている、さら に予備時間が設定されていないので、生徒の実態に応じて柔軟な指導ができない。
- これについてはどう思うか。

# 全員 異議なし。

# 【学び舎】

- 学び舎の分量はどうか。
- ・ 時数はおおむねよいが、領域に偏りが多い。例えば、ドイツ帝国やハンガリーの独立に1時間、 市民革命に4時間、第二次世界大戦までに15時間と学習時数に偏りがある。
- さらっと流しているところと他との差が大きい。
- これを課題点として挙げてよいか。

# 全員 よい。

#### (4) 使用上の便宜

#### 【東京書籍】

- 次に使用上の便宜について調査する。東京書籍の使用上の便宜についてはどうか。
- ・ 学習課題を追究するにあたって、資料、注、本文が効果的に関連づけられており、学習を 進める上で活用しやすい。
- ・ また、小学校で取り扱った歴史上の人物を改めてトピックとして取り上げているため、小中 での関連が図りやすい。
- ・ 単元や一時間の授業ごとに、「まとめの活動」が設定されており、自分の考えを再構成する 場面が設定される等学習の深まりに有効である。
- 思考ツールを用いたまとめは思考力を育てるのに有効だ。
- 課題はあるか。
- 巻末の年表に年号とできごと以外のことが多く書かれており見づらい。
- 確かに、生徒にとって情報が多すぎ、見づらい。
- ・ これらの意見を使用上の便宜の特色として良いか。

#### 全員 異議なし

#### 【教育出版】

- ・ 教育出版の使用上の便宜についてはどうか。
- ・ 各ページのタイトル部に「時代スケール」が示されているので、生徒が学習する際にどの 時代の学習をしているのか、理解しやすい。
- ・ 確かに、他者も時代スケールはあるが、タイトル部にあることで、導入時に時代の流れを確認できる。見やすい。
- また、適切な資料が適切な位置、分量で掲載されており、また、重要文化財、国宝等のアイコンが見やすく設定されているため、文化財を尊重し、また、過去と現在をつなげやすい。
- ・ 他にも、各章末のまとめの3ページ目に時代の特色と前時代の特色とを比較して考察する問いを設定したり、次の時代の扉ページと隣合わせで配置したりする等、時代の転換を捉えやすくしている。
- ・ デジタルコンテンツを使用している出版社は、東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版、 日本文教出版などがあるが、どうか。
- デジタルコンテンツ「まなびリンク」が用意されているものの、データベース等へのリンク集に過ぎない。
- これらを教育出版の使用上の便宜にして良いか。

#### 全員 異議なし

#### 【帝国書院】

- ・ 帝国書院の使用上の便宜についてはどうか。
- ・ 資料が豊富に掲載されているため、教科書の資料だけで十分に多面的・多角的に課題を追 究することができる。
- ・ しかし、本文中の内容以上の情報が詰め込まれ、余白が少ないページが散見されるため、情報量が多いと感じる。
- 具体的にどのページなどから情報量が多いと感じるか。
- ・ 教科書 p. 224 の第二次世界大戦の参戦国など他者と比べて情報が多い。
- ・ 他の人もそう思うか。

#### 全員 異議なし

- ・ しかし、SDGsのマークがコラムにあり、歴史学習の中でも現代的課題を意識するように 工夫されている。この点はよい。
- ・ 巻末の年表では、図、資料をいれており、当時の仕組み等がわかりやすい。
- ・ これらを帝国書院の使用上の便宜としてよいか。

#### 【山川出版】

- ・ 山川出版の使用上の便宜についてはどうか。
- ・ 史料や系譜、絵や写真等資料を豊富に配置している。また、大きく見やすく掲載した図版 には、発問を付け注目すべき部分を示唆している。
- ・ 生徒が苦手な歴史的分野でのレポートの作成や課外での学習についての記述が豊富であり 使いやすい。
- 「歴史を考えよう」「歴史へのアプローチ」「地域からのアプローチ」等では、取り上げた美術作品や史跡等から、課題を話し合い考察しながら歴史を学ぶことができるようにしている。
- ・ 本文の文末が言い切り調で、文章表現が硬く、「幕府の勧告と調停」のように使用されている語句も中学生にとってはやや難解なものが多い。
- ・ p. 72 下地中分図、p. 105 ルターの 9 5 提題等、資料の難易度が高く、授業での活用が困難なものがある。
- ・ 巻末に年表がないため、全体の歴史を振り返る時に活用しづらい。
- ・ これらを山川出版の使用上の便宜としてよいか。

#### 全員 異議なし

# 【日本文教出版】

- ・ 日本文教出版の使用上の便宜についてはどうか。
- 現行とは異なり、帝国議会に関する学習と不平等条約改正に関する学習が別単位時間の学習 になっていて見やすい。
- ・ 巻末の年表は、写真資料や学習単元も明記されているので、自学自習に使いやすい。
- ・ 単元のまとめには、答えのページが示してあり、生徒が自学自習を行うのに使いやすい。
- ・ 「深めよう」は、生徒の思考をさらに深めて、より深い理解へと導くのによいが、全般的に、 各ページの最後にある「深めよう」や「確認」には、ヒントやキーワードがあまり用意され ておらず、記述の苦手な生徒は取組みにくいところがある。
- これらを日本文教出版の使用上の便宜としてよいか。

#### 全員 異議なし

#### 【育鵬社】

- ・ 育鵬社の使用上の便宜についてはどうか。
- 挿絵や写真、図等が、本文と関連を持たせて用意されている。本文、説明文、資料等は、 学習内容と関連があり、有効に使用することができる。
- 写真や絵画資料等、歴史資料の読み取りに丁寧な解説があり、生徒の興味関心を高めることができる。
- ・ 見開き 2 ページが 1 授業時間と設定されており、その構成は共通しているが、資料が本文 部分にまでかかっているページがあり見づらい。(例: p. 97、113、119)
- これらを育鵬社の使用上の便宜としてよいか。

#### 全員 異議なし

#### 【学び舎】

- 学び舎の使用上の便宜についてはどうか。
- ・ A3サイズでタイトルや図、資料が豊富にあり、学習が深まるよう工夫されている。(p. 100 他)
- ・ たしかに、写真や絵画資料等、生徒の興味や関心を引くものが多い。特に見開き左上の導入 の資料とタイトルは生徒の学習意欲を高めるように工夫されている。(p. 216)
- ぐいぐい引き込まれる。読み物としてとてもよい。

#### 全員 異議なし

- 課題点はあるか。
- ・ 図版は豊富にあるが、本文の関連する箇所に図版番号が付されていない。

- ・ 発展的な学習内容の提示はやや分かりにくい。
- ・ 巻末の年表が縦書きに羅列してあるため、時代区分等の認識がしづらい。また、時代区分 の仕方が専門的で難しい。
- 資料などはとても豊富なのだが、生徒が毎日使う上では、使いづらい。
- ・ 他にも、各章の導入の資料は、様々な事象や特徴を取り上げているが、網羅的であり、単元 を貫く問いの設定には向かない。また設定してある問いも抒情的であり、生徒が学ぶべき内 容が明確にとらえにくい。
- これらを学び舎の使用上の便宜の特色としてあげてよいか。

#### (5) 印刷·製本

#### 【東京書籍】

- 次に印刷・製本等について調査していく。東京書籍の印刷・製本等についてはどうか。
- ・ ユニバーサルデザインフォントが利用されており、視認性は良い。
- カラーの部分が、落ち着いた配色であるが、ややくすんだ印象を受ける。
- これらを印刷・製本の特色としてよいか。

#### 全員 異議なし

#### 【教育出版】

- ・ 教育出版の印刷・製本についてはどうか。
- ・ ユニバーサルフォントの使用や行間が適切で、非常に見やすい。
- ・ 資料の説明文の文字頭が揃っていないところがあり、読みづらい部分もある。 (p. 173 の 5、 p. 175 の 7)
- ・ これらを印刷・製本の特色としてよいか。

#### 全員 異議なし

#### 【帝国書院】

- ・ 帝国書院の印刷・製本についてはどうか。
- 隣接する図やグラフが、はっきりと異なる色で配色され、見やすい。
- ・ ユニバーサルデザインフォントが使用されており、文字は非常に読みやすい。
- これらを印刷・製本の特色としてよいか。

#### 全員 異議なし

#### 【山川出版】

- 山川出版の印刷・製本についてはどうか。
- ・ 図版が大きく地図やグラフはカラーユニバーサルデザインに配慮され、読み取りやすい作 図となっている。
- ・ フォントが小さく、振り仮名も薄く読みづらい。
- ・これらを印刷・製本の特色としてよいか。

#### 全員 異議なし

#### 【日本文教出版】

- ・ 日本文教出版の印刷・製本についてはどうか。
- 歴史的な文化作品や遺産の写真等の図版が大きく掲載されている。
- ・ 隣り合う色がはっきりと違いの分かる配色をしており、色覚特性の生徒への配慮がなされている。(p. 168:アメリカ合衆国の領土の拡大の地図)
- ユニバーサルデザインフォントが使用されており、行間も適切で見やすい。
- これらを印刷・製本の特色としてよいか。

# 全員 異議なし

#### 【育鵬社】

育鵬社の印刷・製本についてはどうか。

- 印刷が鮮明である。
- フォントが小さく、行間が狭いため読みづらい。
- これらを印刷・製本の特色としてよいか。

#### 【学び舎】

- 学び舎の印刷・製本についてはどうか。
- ・ 印刷が鮮明で、白紙面と文字のコントラストが、とても見やすい。
- ・ これは市民の方の意見にもあったが、A4判と縦長く、持ち運びに不便であるとともに、ノートや資料集等と一緒に机に置くと手狭である。
- これは、市民の意見として掲載しても良いではないか。
- ・それでよろしいか。

#### 全員 異議なし

#### 2 選定の観点

- ・ 次に選定の観点に沿って各教科書会社を調査していく。
  - 観点としては、
  - ○歴史的な見方・考え方を働かせた課題追究の学習過程をとっているか。
  - ○その学習過程により、大きな歴史の流れを、世界史を背景に特色を踏まえて理解したり、歴史に関する情報を調べまとめる技能を身に付けたりしているかという知識及び技能に関すること。
  - ○歴史的な見方・考え方を働かせて多面的・多角的に考察し、公正に選択・判断できる力、思 考力を培うものかどうかという点。最後に、課題を主体的に追究、解決しようとする態度、 文化遺産の尊重、国際協調の精神などを養うものになっているか。という点から考察してい く。
  - ○また、北九州市の特色として大事にしたいのが人権である。ここも踏まえて調査を行ってい く。

#### 【東京書籍】

- ・ 東京書籍の選定の観点についてはどうか。
- ・ 歴史的な見方・考え方について丁寧な解説があり、また、随所に歴史的な見方・考え方を 働かせた資料の読み取りやまとめ、振り返りが設定されている。
- ・ 「単元を貫く問い」を設定し、その課題を追究するために毎時の問いを設定する等、「問い」 を軸にした単元の構造化が行われており、ていねいに課題解決を図ることができる。
- ・ 「基礎・基本の確認」と「要約・説明」という2段階で言語活動の充実を図るよう工夫されている。また、字数やキーワード等の支援があり、記述の苦手な生徒でも取り組みやすい。
- ・ 各単元に、X チャート等の多様な思考ツールを用いた単元の課題解決の場面が設定されており、思考力・判断力・表現力の育成に適している。(p. 60、p. 96 他)
- ・ 単元最後の「まとめの活動」には、「トライ」や「みんなでチャレンジ」等が設定されており、 複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断する力、説明する力を養うことができるもの となっている。(例: p. 60、p. 96、p. 146 等)
- 本編で文化学習に取り組んだ後に、一つの資料を深く読み解くトピックが用意され、文化を学ぶ面白さや、奥深さを感じ取れる構成になっていることで、我が国の伝統や文化を尊重する態度を養うことができる。
- 「もっと歴史」や「歴史にアクセス」にSDGsの視点や現代的な諸課題の解決について具体的な資料が明示されたり、人権、環境等の視点がマークとしてつけられたりする等、よりよい社会の実現に向けた考察ができるよう配慮されている。
- 「読み取る」「考える」「まとめる」等の思考力や表現力を育成する問いが示されているが、 1単位時間の学習に対して活動内容が多い。
- 各ページに設定されている学習課題が、「どのように」「どのような」という問いの設定が多いため、知識の概念化を図るには、教師が意図的に活動や問いを仕組まなければならない。

これらを東京書籍の特色としてよろしいか。

# 全員 異議なし

#### 【教育出版】

- 教育出版の選定の観点についてはどうか。
- ・ 小学校の教科書に掲載されている人物を小学校のアイコンで表示されており、小学校の歴 史学習とのつながりが強く意識できる。
- ・ 導入の部分では、歴史学習の要となる「歴史的な見方・考え方」が具体的で、かつ、平易 な言葉で解説されていることから、歴史学習で必要な視点を意識させやすい。
- ・ 見開き2ページの中に、「歴史の技」や「読み解こう」等が設けられており、資料を読み取る力や資料活用のスキルを身につけ、歴史事象を考察しやすくなっている。(p. 171)
- ・ 古代ローマや市民革命期のヨーロッパ等の民主主義の来歴についての資料が充実している。 さらに、「歴史学習の終わりに」では、SDGsについて取り上げ、主体的に現代的課題について自分たちに何ができるのかを考えて終わるような工夫が見られる。
- ・ 各ページに学習課題の記載はあるが、単元を貫く問い(探究課題)の設定でないため、教 師が意図しなければ、単元を通しての課題解決が図りにくくなり、生徒が大きな歴史の流れ をとらえにくくなる場合がある。
- ・ 各章末に設定されている「学習のまとめ」が知識・理解に関するまとめが多く、各時代の 特色を多面的・多角的に考察したり、他時代との比較をしたりするものにはなっていない側 面がみられる。
- これらを教育出版の特色としてよろしいか。

#### 全員 異議なし

#### 【帝国書院】

- ・ 帝国書院の選定の観点についてはどうか。
- ・ 単元を貫く問い(「章の問い」「節の問い」「学習課題」)、言語活動を備えた学習の振り返り(「章の学習を振り返ろう」「節の問いを振り返ろう」「確認しよう」「説明しよう」)等を設定しているので、段階的に学習課題を追究する学習活動を行うことができる。
- 「章の問い」「節の問い」「学習課題」の設定が、具体的でわかりやすく、若年教員が「めあて」を考える際の手がかりとすることができる。
- ・ 「主体的な学び」を実現するために、紙面全体にわたる大きなイラストから各時代を概観する「タイムトラベル」がある。
- ・ 「技能をみがく」コーナーが段階的に 12 テーマ設定されており、歴史に関する情報を調べ、 まとめる技能が身につくようになっている。
- 人権に関するコラムが 17 か所も設けられており、人権意識を高めることにつながると考えられる。
- ・ 「多面的・多角的に考えてみよう」というコラムが設けてあり、複数の立場や意見を踏まえて歴史的事象について考察する力を養うことができる。
- ・ 歴史的な見方・考え方のページが冒頭 (p. 12) と、単元まとめのみである。子どもが毎時間、 意識して歴史的見方・考え方を働かせたり、教師が意識して指導したりするには取り扱う量 が少ない。
- ・ 課題や問いが具体的ではあるが、一問一答の体になっていることは否めず、生徒の多面的・ 多角的な考察を促すとは言い切れない。ゆえに、生徒がいくつかの選択肢の中から公正に何 かを選択するという活動にはいたりにくい。
- これらを帝国出版の特色としてよろしいか。

#### 全員 異議なし

#### 【山川出版】

- 山川出版の選定の観点についてはどうか。
- ・ 各時代の特色や時代の転換点をとらえるのに、各章末の「まとめ」に推移や因果関係、差 異等に着目させる発問が工夫されている。
- しかし、単元を貫く問いが設定されていないので、生徒が見通しをもって課題を追究した。

- り、大きな時代の流れを理解したりしにくい。
- ・ 問いについての意見だが、他の人はどうか。
- ・ 単元を貫く問いが設定されることで、単元の大きな歴史の流れを捉えることができる。それ がないので、網羅的に学習していくことになるので課題が多い。
- ・ しかし、各章末のまとめは立場を考えさせる等の多面的・多角的に考察する発問が工夫されていると思う。
- では、これら両方を意見として出してよいか。

- ・ 他にも良いところとして、国際関係が図式化されており、各国の関係や勢力を比較しやすい。 世界とのつながりをイメージしながら、日本の歴史を捉えやすい。
- ・ 多くの海外の出来事が掲載されている「○世紀の世界」や「歴史を考えよう」「歴史へのア プローチ」の内容は難易度がやや高めではあるが、関心のある生徒にとっては学びへの探求 心を高めるものである。
- ・ 文化の学習ページだけにとどまらず、文化財の写真や資料がふんだんに使われており、我 が国の歴史に愛着を持てるよう工夫がされている。
- 「身近な地域を調べよう」や「地域からのアプローチ」で、地域の歴史を展開や文化財保護の取り組み等を通して、歴史を学ぶことの現代的な意味を考えさせることができる。
- 各章末のまとめに因果関係や推移、差異に着目させる発問が用意されているが、あくまで 学習内容の整理にとどまっており、時代の特色を自分の言葉で表現するような問いは設定されていない。
- ・ 課題について話し合い、考察しながら学ぶページとして「歴史を考えよう」のコーナーが 設けられているが、資料から読み取れることについて意見交換をするような内容が多く、複 数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断するような学習が少ない。(p. 56、p. 134)
- これらを山川出版の特色としてよろしいか。

#### 全員 異議なし

#### 【日本文教出版】

- 日本文教出版の選定の観点についてはどうか。
- ・ 1単位時間ごとに、学習課題のすぐ下に「見方・考え方」の欄を設け、さらに「比較」「差異」 「推移」「つながり」等視点を掲示しているため、歴史的な見方・考え方を働かせやすい。
- 生徒が「主体的・対話的で深い学び」を通して、「時代の特色」を捉えられるように、第2~6編では、「見通す(導入ページ)」→「考察する(本文)」→「考察する(特設)」→「ふりかえる(まとめページ)」という構成がされている。
- ・ 各編の導入ページに「めあて」として単元を貫く問いが設定されており、各時代の学習に対 して生徒が見通しをもつことができる。
- ・ 生徒が基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着できるように、見開き2ページの中で、「学習課題」(一単位時間で学ぶこと)や「見方・考え方」(どの視点や方法に着目するのか)、「深めよう」(学習課題を深める問い)、「確認」(学習課題に対応する問い)が設けられている。
- ・ 我が国の歴史の背景となるような世界の歴史を理解するため、各編・章の導入ページに世界地図が設けられている。
- ・ 「地域調べ」では、北九州市の公害克服について2ページにわたって取り上げられており、 北九州市の生徒のシビックプライドを醸成するうえで大変有効である。
- 時代の特色をとらえることをねらいとした「アクティビティ」が設けられており、情報を 読み取り、比較し、考察する力を育む活動が設定されている。
- コラムとして「先人に学ぶ」のコーナーを設け、さらに、生活や文化の発展に寄与した人を取り上げる等、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物等を尊重しようとすることの大切さについての自覚が深められるようになっている。
- ・ 各時代の人々の営みに関する題材において、女性の生きる姿を具体的に描くことに力点を 置いている。
- 単元の学習課題があらかじめ設定されており、主体的に課題を発見できるような導入の工

- 夫があまりない。
- ・ 世界の歴史の内容が用意されているが、特に古代から中世においては単独で構成されているものが多く、日本の歴史との関連や影響が理解しづらい。
- ・ 各ページでのまとめが「説明しよう」という説明的知識を確認することが多く、複数の立場からのから広く深く思考したり、選択・判断したりする内容になっていない。
- これらを日本文教出版の特色としてよろしいか。

# 【育鵬社】

- ・ 育鵬社の選定の観点についてはどうか。
- ・ 歴史の課題に対して主体的に考えることができるように、過去・現在・未来という時間 (「タ テ軸」) の視点をもって考えることができるテーマを「歴史ズームイン」等で設けている。
- ・ 日本の大きな歴史の流れで構成された各章に「このころの世界は」のトピックが設けてあ り、日本の時代の転換と世界の歴史の関連がつかみやすい。
- また、文化の学習では、代表的な作品だけにとどまらず、関連する作品や活躍した人物が多く取り入れられ、日本の文化を広く学ぶことができる。
- 各章に1つずつ「歴史のターニングポイント」や博物館のレイアウトを考える活動が設けられており、時代の転換の様子を複数の立場や意見を踏まえて、選択・判断したり、議論したりする力を養うことができる。
- ・ 身近な地域の歴史について調べる「地域の歴史を調べよう」や偉人の足跡を紹介した「人物クローズアップ」、各地域の文化遺産を紹介している「歴史ビュー」等を設け、郷土の歴史に対する興味・関心を引き出したり、郷土を愛する態度を養ったりすることができる。
- ・ 領土問題を取り扱った「歴史ズームイン」における、近隣諸国との領土に関する説明が法 的根拠に基づいており、生徒の視点からも理解しやすい。(pp. 266~267)
- ・ あと、各時代に、同時代を生きた外国人が、日本や日本人をどう見ていたのかを紹介し、国際理解を深めることができるように工夫している。
- ・「献身」「公共」「勇気」「勤勉」等の美徳を体現した人物の生き方や、各時代を代表する 15 人の女性たちの生き方を掲示している。
- ・ このことについては、市民の方からもご意見をいただいている。掲載してよいか。

#### 全員 異議なし

- ・ 各章のまとめのページの最後に、その時代の特色をまとめる課題が設定されているが、「虫の目で見る」のページに「この時代は○○の時代!」とすでにまとめが示されているため、大きな歴史の流れを思考させづらい。このような一面的な捉えであると思う。
- ・ 他にも、単元に示された導入に示された課題と、学習のまとめ、振り返りとの間に一貫性が ないため単元を貫いて課題解決が図れない。
- ・ つまり、単元を貫いて大きな歴史の流れを理解させるようになっていないということです。 網羅的になってしまう可能性がある。
- 歴史的な見方・考え方を働かせるでは、その内容についての解説や使用例はなく、本文で 唐突に用いられているため、継続して見方・考え方を働かせることが難しい。
- ・ ただし、歴史的な事象や、伝統と文化等の学習が単発的であり、推移や変化を継続的に学習 する構成になっていない。
- これらを育鵬社の特色としてよろしいか。

#### 全員 異議なし

#### 【学び舎】

- ・ 学び舎の選定の観点についてはどうか。
- ・ 各章の初めに、その時代の地図を用いたさまざまな地域の様子が示されており、またどの 章でも同じ地図が用いられており、歴史的な事象を推移や関連で捉えることができる。
- ・ 為政者だけでなく、民衆や男女等、さまざまな階層や立場から活躍した人を取り上げており、 歴史的事象を多面的・多角的に考察できる。
- ・ 各章のまとめが充実しており、史料を読み、対話や討論することで公正に選択・判断する力、 説明する力、議論する力を養う工夫がされている。(pp. 178~181)

- ・ 各時代の人々の営みに関する題材において、女性の生きる姿を具体的に描くことに力点を 置いている。
- ・ 歴史的な見方・考え方を働かせる資料等が掲載されているが、資料を読み取るための視点がない。
- 各部のまとめのページに、グループ活動等を通して深められるような課題を設定しているが、 議論する上で根拠となる資料が不十分で議論が深まらないものが多い。
- ・ 1単位時間のまとめとしての課題や活動が示されておらず、学習を振り返る活動ができるように配慮されていない。各部を貫く問いが、その時代の特色をとらえられるような問いになっておらず、章の学習課題等もなく、学習に見通しをもたせにくい。
- ・ 時代ごとの文化の特色についての記載がわかりづらく、代表的な事例を取り上げて特色を 考察させることが難しい。(P.44、P.50)
- ・ 東アジアに関する内容が細かい部分が多い。(pp. 56~57、pp. 72~73、pp. 184~185 等)
- これらを学び舎の特色としてよろしいか。

・ 本日は、ここまで。次回は、学校の意見、市民の意見を中心に研究調査を行い、まとめていきま く。

# 令和2年7月3日(金) 教育センター 207室

13:40~ 選定基準の読み合わせ、個別の調査・研究

13:55~ 各自の調査研究の読み上げ

協議:司会(教頭)

- ・ 今日は、市民の方の意見や学校現場からの意見を読み、報告書に掲載するかどうかについて審議 する。
- ・ 前回、市民の方からの意見を読みんだが、再度熟読し、報告書に掲載するかどうかについて考えていきたい。
- ・ 人権の大切さについて、帝国書院は、在日韓国朝鮮人のことなどコラム欄に書いているという市民の意見がある。私たちも、帝国書院の人権に関する視点が17か所もあると確認した。これは報告書に載せて行きたいと思うが、どうか。

#### 全員 異議なし

・ 学び舎について女性の人権について多く触れられている。これは、選定の基準にも当てはまり、 市民からも意見をもらっている。報告書に載せてよいか。

#### 全員 異議なし

・ 先ほど東京書籍で、小学校で取り扱った歴史上の人物を多く取り上げているという意見は、たしかで、他者では解説がない歴史上の人物についても丁寧に解説を書いている。これは、親切でわかりやすい。市民の方の意見とも同じである。記載してはどうか。

#### 全員 異議なし

- ・ 市民の意見に、育鵬社の古事記などの記載については、歴史ではないものを載せているのはどう かという意見を頂いている。これについてはどう思うか。
- ・ 神話について扱っている発行者は、育鵬社、日本文教出版、教育出版、東京書籍である。帝国、 学び舎、山川は掲載されていない。

また、育鵬社については、p.57 に、神話に書かれていることは歴史の事実そのものと言えないが、当時の人々の国の成り立ち方を知る手がかりと書かれている。

これは、日本文教出版、教育出版、東京書籍も同様で、文化として扱われている。

文化として扱っているのならよいのではないか。

#### 全員 異議なし

・ 学び舎の資料が豊富であるというご意見があった。私たちの調査とも一致する。入れてよいか。

# 全員 異議なし

学び舎については、A4版で持ち運びがしづらいというのがある。これは私たちの調査とも一致

する。入れてよいか。

#### 全員 異議なし

- ・ 再度の検討になるが、太平洋戦争の記述など歴史認識に関することが多く寄せられている。この 市民の方の意見についてはどう思われるか。
- ・ 私たちは調査を行うにあたって、社会的な見方・考え方を働かせて課題追究ができること、それによって3つの資質・能力が育まれるかという視点から、市民の意見についても取り上げるようにしていくべきと考える。

#### 全員 異議なし

・ では、続いて学校からの意見について検討していく。 まず、学校からの意見を読み、同じ意見やこれは是非取り入れたいという意見を紹介していただ きたい。

#### 【東京書籍】

- ・ 「思考ツール」がまとめにあることで、多面的・多角的に考察しまとめることができ、言語 活動の充実が図られるとある。これは私たちの意見と同様である。
- 「資料から発見!」では、各時代の特徴的な絵画資料とその他の様々な資料を読み取るための段階的な問いがあり、生徒の自主的・自発的な学習を促すことができるということも同じ意見である。
- ・ 「学習課題」「みんなでチャレンジ」「歴史にアクセス」等の活動が多く、すべてを一単位時間で取り扱うには多いという意見があり、ここも一緒の意見である。
- さらに、単元や1時間の授業ごとに、「まとめの活動」が設定されていることも書かれている。
- ・ ここまで同じ意見が多くみられるが、これらを報告書に記述してよいか。

#### 全員 異議なし

- 他にあるか。
- UDフォントが利用されており、視認性は良いという意見もあった。他者にも同様の意見がある。整理して記述のある発行者にUDフォントのことを記述してはどうか。

#### 全員 異議なし

- カラーの部分が、落ち着いた配色であるが、ややくすんだ印象を受ける。
- ・ 各単元に、Xチャート等の多様な思考ツールを用いた単元の課題解決の場面が設定されていることもよい点として挙げられていた。報告書に掲載してよいかと思われる。

#### 全員 異議なし

- ・ 「トライ」や「みんなでチャレンジ」等が設定されており、複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断する力、説明する力を養うことができるものとなっているとある。具体例として報告書に追加してよいかと思う。
- ・ 他にあるか。以上のことを学校の意見として報告書に掲載してよいか。

#### 全員 異議なし

#### 【教育出版】

- 共通点、特筆すべきことを発表していただきたい。
- ・ 予備時間の設定がないため、教師が生徒の実態に応じて弾力的に指導を行う時数が限られる という点である。
- 各ページのタイトル部の「時代スケール」があり、学習する時代が分かりやすい。
- ・ 古代ローマや市民革命期のヨーロッパ等の民主主義の来歴についての資料が充実している。 さらに、「歴史学習の終わりに」では、SDGsについて取り上げ、主体的に現代的課題について自分たちに何ができるのかを考えて終わるような工夫が見られるという点も同じである。また、SDGsについては、現場の多くの先生がよいと感じているようである。
- 他にあるか。では、これらを学校の意見として報告書に掲載してよいか。

#### 全員 異議なし

#### 【帝国書院】

・ では、帝国書院に対して学校の意見で同じもの、特筆するものがあれば発表していただきたい。

- ・ 各単元や学習課題のまとめで自分の言葉で説明する場面や、「タイムトラベル」や「多面的・ 多角的に考えてみよう」等の課題探究の場面があり、言語活動が充実している。
- ・ しかし、本文中の内容以上の情報が詰め込まれ、余白が少なく情報量が多いと感じる。という意見があった。これは、私たちが調査で話し合った第二次世界大戦のページも含まれるため、一緒に合わせて報告書に掲載してはどうか。

- 隣接する図やグラフが、はっきりと異なる色で配色され、見やすい。
- UDフォントが使用されて、文字は非常に読みやすいも同様の意見である。
- ・ 単元を貫く問い、言語活動を備えた学習の振り返り等を設定しているので、段階的に学習 課題を追究する学習活動を行うことができるという点も挙げられる。
- 「タイムトラベル」は、紙面全体にわたる大きなイラストから各時代を概観できるという意見も一緒である。
- ・ 「技能をみがく」コーナーが段階的に12テーマ設定されており、歴史に関する情報を調べ、 まとめる技能が身につくような工夫があるというのも同じである。
- 人権に関するコラムが豊富だという意見がある。これは市民・学校とも同じ意見である。
- 「多面的・多角的に考えてみよう」というコラムが設けてあり、複数の立場や意見を踏ま えて歴史的事象について考察する力を養うことができるというのも同じである。
- 他にあるか。では、これらを学校の意見として報告書に掲載してよいか。

#### 全員 異議なし

# 【山川出版】

- ・ 高等学校で取り上げられる内容、難しいし、学習内容や文章量がやや多い。という意見があった。また、フォントが小さく、振り仮名も薄く読みづらい。という意見もあった。
- ・ 文化財の二次元コードから NHK for School のページに移動することができるという意見も わたしたちと同じである。
- 各章末のまとめが自分の言葉で表現するように設定されていないという意見もあった。
- ・ 他に意見はあるか。では、これらを学校の意見として報告書に掲載してよいか。

#### 全員 異議なし

#### 【日本文教出版】

- 学習内容や他分野との関連をページ下部に示している。
- ・ 資料を基に選択・判断しながら時代の転換期を捉えることができる「歴史にチャレンジ」や 「アクティビティ」を設けており、言語活動の充実を図っている。
- ・ 現行とは異なり、帝国議会に関する学習と不平等条約改正に関する学習が別単位時間の学習 として再編される等1単位時間の学習として、まとまりをもたせた構成となっている。
- 巻末の年表は、写真資料や学習単元も明記されているので、自学自習に使いやすい。また、 歴史的な文化作品や遺産の写真等の図版が大きく掲載されているという意見も同じである。
- ・ 学校でも「見方・考え方」の欄を設け、さらに「比較」「差異」「推移」「つながり」等視点を 掲示しているため、歴史的な見方・考え方を働かせやすいとアイコンについてのコメントが あった。
- 日本文教出版の単元を貫く問い(めあて)のことが述べられている。
- 時代の特色をとらえることをねらいとした「アクティビティ」が設けられ、時代の特色をとらえることができるという意見と、言語活動の充実が図られるという意見がある。
- ・ アクティビティは細かなステップが記されているから考察しやすい。これは、教科の選定基準の方に載せようと思うがどうか。

# 全員 異議なし

- コラム、「先人に学ぶ」のコーナーが充実しているとある。
- ・ しかし、学習課題があらかじめ設定されているので、主体的に課題を発見できるような導入 の工夫があまりないという意見もあった。これは、私たちの単元を貫くめあてのところと同 じ意見だと思う。
- 学校の意見として報告書に掲載してよいか。

#### 【育鵬社】

- ・ 育鵬社について「黄禍論」や「聖断」「ハルノート」などの詳細は生徒が多面的・多角的に考察し、理解するには、難しいものであるという学校からの意見があった。
- ・ 確かに、その言葉が難しいというだけでなく、そのことを多面的・多角的に考察ししっかり 深く理解するには、もっと多くの時間ともっと多くの資料の検討が必要になる。生徒にとっても学校にとっても難しい内容である。
- では、言葉ではなく、内容が難しいという表現にしようと思うがどうか。

#### 全員 異議なし

- ・ 1単位時間の学習内容を確認するための設問があり、学習内容をまとめたり、「ターニングポイント」のトピックでは、議論が行いやすいテーマを設定したりと、「書く」や「話す」等の言語活動が充実している。
- ・ 確かに言語活動の充実は図っている。しかし、私たちの調査にあるように、学習課題とまと めが一致していないなどと矛盾もある。
- フォントが小さく、行間が狭いため読みづらいという意見もあった。
- ・ 他に学校の意見はありませんか、では、これらを報告書に掲載してよいか。

# 全員 異議なし

#### 【学び舎】

- では、学び舎についてお願いする。
- アブ・フレイラ遺跡や倭寇(後期倭寇)の記載等、中学生にとっては難しいと思われる内容 があるというのは、私たちと一緒である。
- ・ 黒太文字がないので、大切な言葉が分からない。というのもあった。重要語句が一目で認識 できず、語句解説も少ない等、学習補助となる手だてとなるものが少ない。とも書かれてい る。
- A4判と縦長く、持ち運びに不便であるとともに、ノートや資料集等と一緒に机に置くと手 狭である。
- ・ 読み物としては本当に興味深い資料だが、実際の現場では、使いづらいところもあると思う。
- ・ そのほかに、学習課題の設定や課題意識の育成、学習内容の定着を図るために、章の冒頭に 「章の扉」、章末に「章をふりかえる」、部末に「学習のまとめ」、特設ページとして「歴 史を体験する」を設けているという良さが書かれており、私たちとも同様である。
- 他に意見はあるか。では、学校の意見として報告書に掲載してよいか。

#### 全員 異議なし

・ 以上で7者全ての協議が終わった。報告の整理に入る。

16:00~ 大型テレビに様式を移して観点ごとの内容を整理。

16:20~ 印刷・確認 → 修正

16:40~ 鑑文に押印・片付け

17:00 終了